ViewSonic®

XG321UG

ディスプレイ
ユーザーガイド

モデル番号 VS18555
P/N: XG321UG

ViewSonic® をお選びいただき、ありがとうございます

ViewSonic® は、ビジュアルソリューションの世界有数のプロバイダとして、技術の進化、革新、シンプルさに対する世界の期待を超えることに専心しています。ViewSonic® では、当社の製品は世界中でプラスの影響を与えることができると考えており、お客様が選択された ViewSonic® 製品がお客様に役立つと確信しています。

繰り返しになりますが、ViewSonic® をお選びいただき、誠にありがとうございます。

> 安全上のご注意

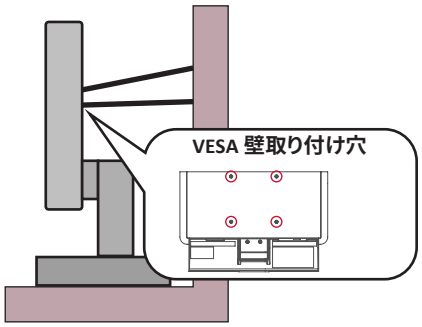
デバイスを使用する前に、以下の**安全上のご注意**をお読みください。

- 本ユーザーガイドは、安全な場所に保管してください。
- 全ての注意事項を読み、全ての仕様説明に従ってください。
- ご使用の際は、ディスプレイから 45 cm以上離れて座ってください。
- 換気を妨げないよう、ディスプレイの周囲、最低 10 cmは、清潔な状態を保ってください。
- ディスプレイは風通しの良い場所に置いてください。また、ディスプレイの内部に 熱がこもらないように通風孔周辺には物を置かないでください。
- 発火や感電の危険を減らすため、水気、湿気がある場所での使用は避けてください。
- ディスプレイは直射日光の当たる場所に置かないでください。
- また、エアコンやストーブ、その他発熱する機器などの近くには設置しないでください。
- 本体の清掃は、やわらかい乾いた布などで行ってください。詳細は、本マニュアルの「メンテナンス」の章を参照してください。
- 画面に触れると油が付着する可能性があるため、画面には触れないでください。
- 画面の表面は傷つきやすいので、鋭利なものや硬いもので触れないようにしてください。
- 製品とサポート家具の間にある可能性のある布やその他の素材の上にデバイスを置かないでください。
- 本体を移動させる際は、落としたり、何かにぶつけたりしないように十分にご注意ください。
- 本体を傾斜や凹凸のある場所、不安定な場所に置かないでください。本体が転倒・落下してけがや故障の原因となります。
- また、ディスプレイや接続ケーブルの上には重いものを置かないでください。
- デバイスセットのメーカーが推奨するキャビネットまたはスタンドまたは設置方法を常に使用してください。
- デバイスを安全に支えることができる家具を常に使用してください。
- デバイスがサポート家具の端からはみ出していないことを常に確認してください。
- 家具とデバイスの両方を適切なサポートに固定せずに、デバイスを背の高い家具（食器棚や本棚など）に置かないでください。
- デバイスや関連機器に到達するために家具に登る危険性について、常に子供たちに教育してください。

- 子供がいる可能性のある場所にモニターを置かないでください。
- おもちゃやリモコンなど、子供が登る可能性のあるものを、製品が置かれているデバイスや家具の上に置かないでください。
- 万一、煙、異音、異臭などが発生した場合は、直ちに本体の電源を切り、販売店または ViewSonic® にご連絡ください。そのままご使用を続けることは大変危険です。
- 分極プラグや接地プラグの安全規定を妨げないようにしてください。分極プラグは2つのブレードがあり、一方がやや幅広になっています。アースタイプのプラグには、2 本のブレードと 1 本のアース用突起があります。幅の広いブレードとアース用突起は、安全のために用意されています。プラグがコンセントに合わない場合は、形状が一致する変換アダプタをご使用ください。
- プラグをコンセントに接続するときは、アース端子を外さないでください。アース端子を絶対に取り外さないでください。
- デバイスに接続されているコードやケーブルは、つまずいたり、引っ張ったり、つかんだりしないように、常に配線して管理してください。
- プラグや電源コードが、何か物に踏まれたり、挟まれたりしないようにしてください。本体から突出した電源コード部分は、特に注意してください。電源プラグはコンセントの近くに設置し、容易に抜き差し可能な状態でご使用ください。
- 長期間使用しない場合には、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- 建物に設置されている配電系統を確認してください。システムは、定格 120/240V、20A の回路ブレーカーを提供する必要があります。
- カート、スタンド、三脚、ブラケット、テーブルなど、付属品 / アクセサリはメーカーが指定する物のみをご使用ください。
- 移動台車を使用して製品を移動する際には、転倒によって怪我をしないようにご注意ください。

- 製品の修理は、認定されたサービス担当者にご依頼ください。以下のような破損の場合は、修理が必要となります。
  - » 電源コードまたはプラグが破損している。
  - » 本体に液体がかかったり、何か物を落としてしまった。
  - » 雨や湿気にさらしてしまった。
  - » 本体が正常に操作できない。または落としてしまった。
- 長時間大音量で聴いた場合、聴力に悪影響を及ぼすことがあります。
- ロープやその他の拘束装置を使用してディスプレイを壁や固定物に固定すると、ディスプレイの重量を支え、ディスプレイの転倒を防ぐことができます。

穴パターン（W x H）	インターフェイスパッド (W x H x D)	パッド穴	ネジの仕様および数量
100 x 100 mm	115 × 115 × 2.6 mm	Ø 5 mm	M4 x 10 mm 4 個



注意事項：

- 拘束装置 / ロープは 100N の力に耐えられる必要があります。
- コードがまっすぐになっていて、たるみがないことを確認してください。デバイスが外力で傾かないように、デバイスの背面を壁に向ける必要があります。
- デバイスのどの高さや回転角度でも、外力によってディスプレイが傾かないようにしてください。

- 既存のディスプレイを保持して再配置する場合は、上記と同じ考慮事項を適用する必要があります。

> 目次

安全上のご注意 3
はじめに 8
付属品 8
各部の名称 9
セットアップ 10
スタンドの取付 10
マウスアンカーを使用する 13
壁かけでご使用する場合 14
セキュリティスロットの使用 16
本体の接続 17
電源との接続 17
外付け機器との接続 18
HDMI接続 18
DisplayPort接続 19
USB接続 20
オーディオ接続 21
ディスプレイの使用 22
視聴角度の調整 22
高さ調整 22
傾き角度調整 23
本体電源のオン／オフ 24
コントロールパネルキー（ボタン）の使用 25
Quick Access Menu （クイックアクセスメニュー） 25
ホットキー 26
設定 28
一般的な操作 28
メインメニュー構成 31
メニューオプション 37

拡張機能と設定 48

NVIDIA Reflex Latency Analyzer（NVIDIA Reflex遅延アナライザー） 48
ブルーライト低減および目の健康 50
クイックアクセスブルーライト低減の設定 50
休憩の計算..... 51
遠くの物を見る 51
目と首の運動..... 51
Quick Access (クイックアクセス) 52
Elite RGB Lighting（エリートRGB照明） 53
Crosshair（十字線） 54

付録 55

仕様.....55
用語説明.....56
トラブルシューティング 61
メンテナンス 63
お手入れの際の注意..... 63
画面のお手入れ..... 63
ケースのお手入れ..... 63

規制およびサービス情報 64

コンプライアンス情報 64
カナダ産業省の声明..... 64
欧州諸国のCE適合..... 65
RoHS2コンプライアンス宣言 66
著作権情報.....67
免責条項： 67
カスタマーサポート 68

> はじめに

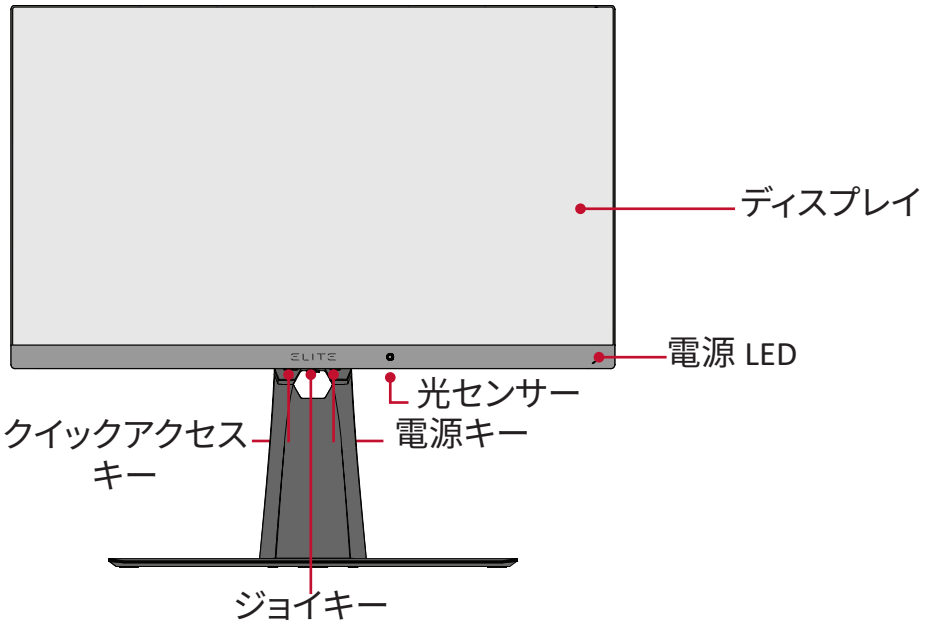
付属品

- モニター
- 電源コード
- 電源アダプタ
- ビデオケーブル
- クイックスタートガイド

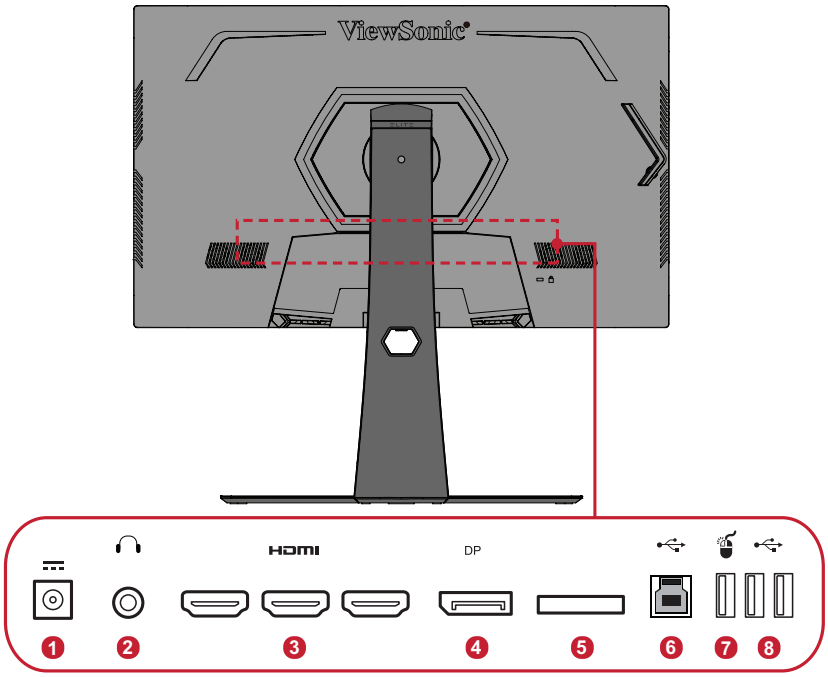
注意事項： 同梱されている電源コードとビデオケーブルは、お住まいの国や地域によって規格が異なる場合があります。詳細については、お近くの販売代理店にお問い合わせください。

各部の名称

前面



背面



1. DC 入力	**2.** オーディオ出力	**3.** DisplayPort	**4.** HDMI
5. JTAG	**6.** USB アップストリーム	**7.** USB ダウンストリーム (NVIDIA Reflex)	**8.** USB ダウンストリーム

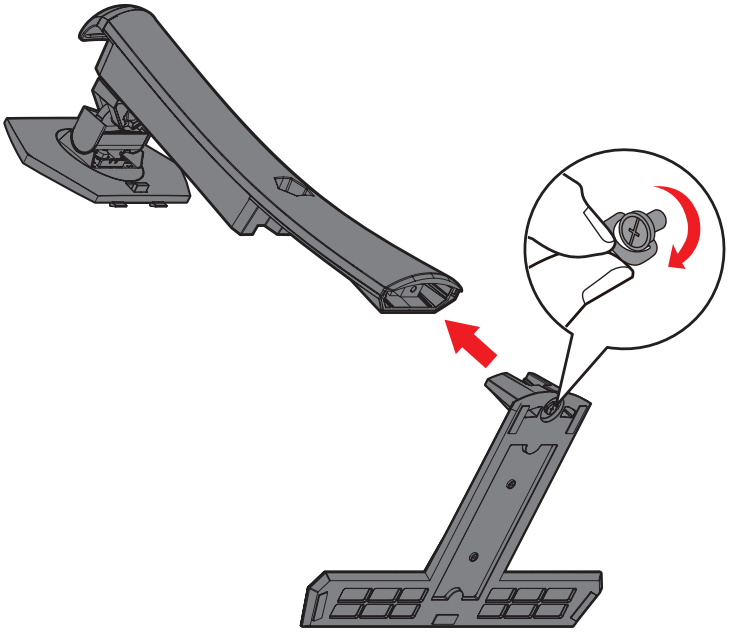
注意事項： **[●] / [◄] / [►] / [▲] / [▼]** キーとその機能についての詳細情報は、28 ページの「ホットキー」を参照してください。

> セットアップ

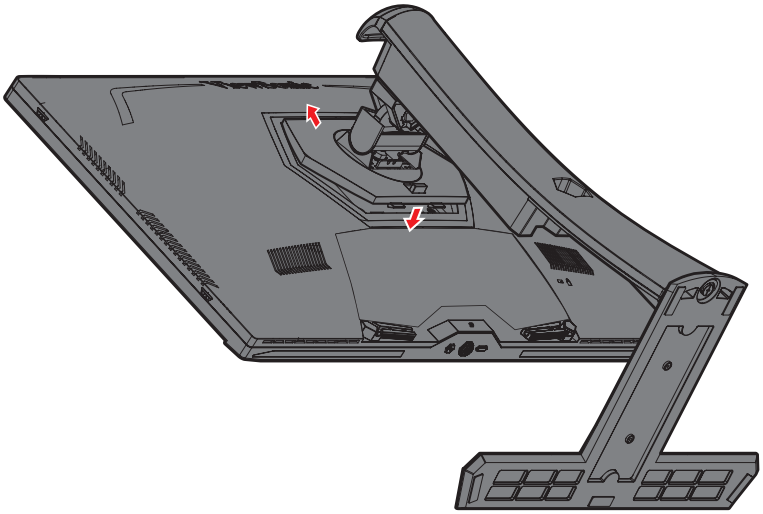
本章では、本体のセットアップについてご説明します。

スタンドの取付

1. 画面を下にした状態で、モニターを平らで安定した面に置きます。
2. ディスプレイスタンドのベースの 2 点をディスプレイスタンドのネックに合わせて接続します。
3. ディスプレイスタンドのベースに取り付けたネジを使用し、ディスプレイスタンドのネックに固定します。

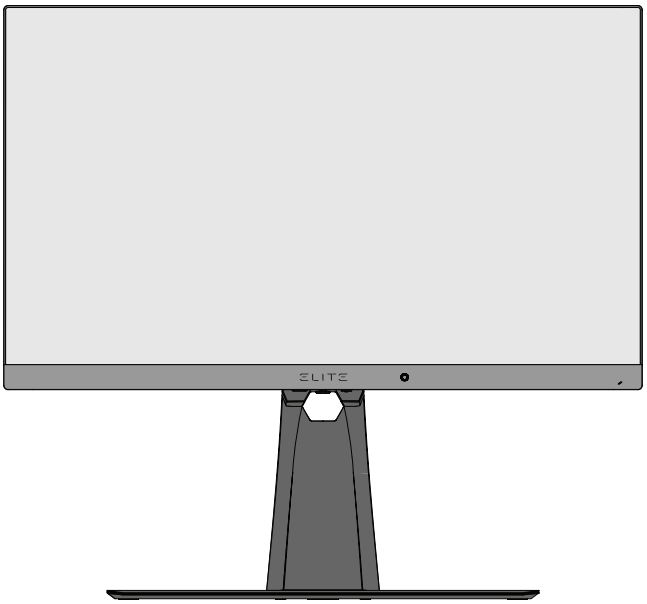


4. 下図のように、ネックスタンド上部のツメを、ディスプレイ側のスタンド取り付けスロットに合わせてスライドさせながらしっかりとはめこみます。



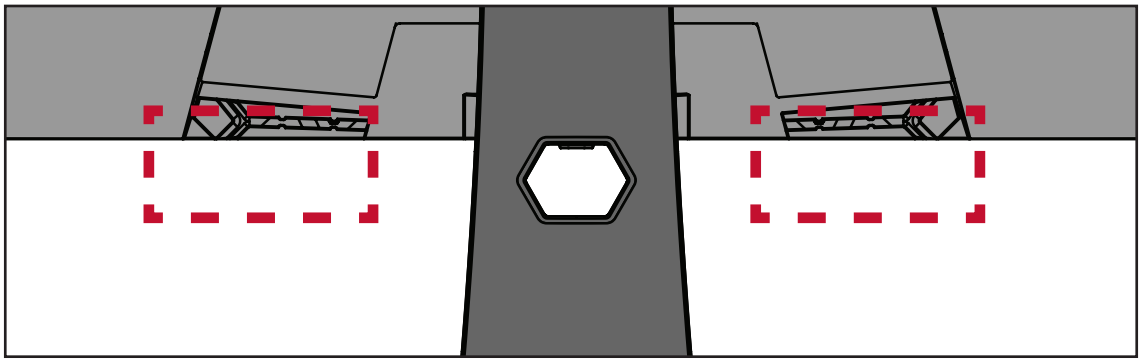
注意事項： クイックリリースタブが確実に所定の場所に固定されていることを確認してください。

5. スタンドのハンドルを持って、本体をまっすぐに持ち上げ、平らで安定した面に垂直に置きます。

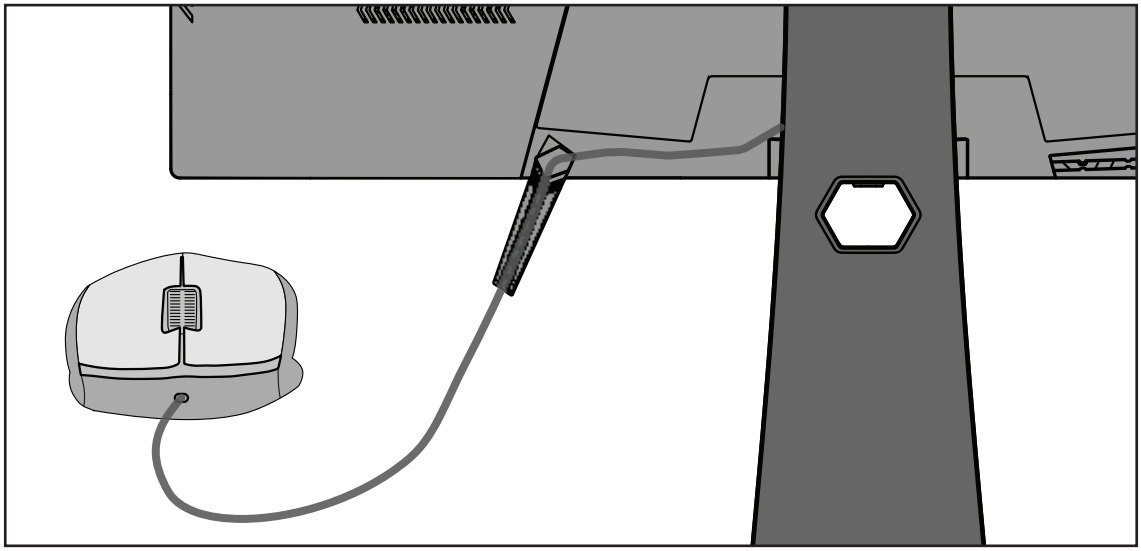


注意事項： 本体は常に、平らで安定した面に置いてください。そうしなかった場合、本体が落下し、本体の損傷および / または人体への傷害が発生する可能性があります。

マウスアンカーを使用する



ディスプレイの背面、I/O ポートの下に、2 つのマウスアンカーが配置されています。これらを使用して、マウスケーブルが垂れ下がるのを防ぎ、好みに合わせてマウスの使用環境を整えられます。



壁かけでご使用する場合

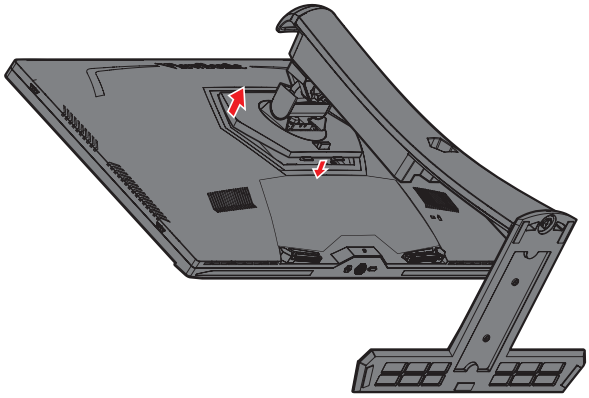
壁取り付けキットの標準寸法については、下の表を参照してください。

注意事項： UL 認定された壁取り付けキット / ブラケットのみを使用してください。壁取り付けキットまたは高さ調整ベースを入手するには、ViewSonic® またはお近くの販売店にお問い合わせください。

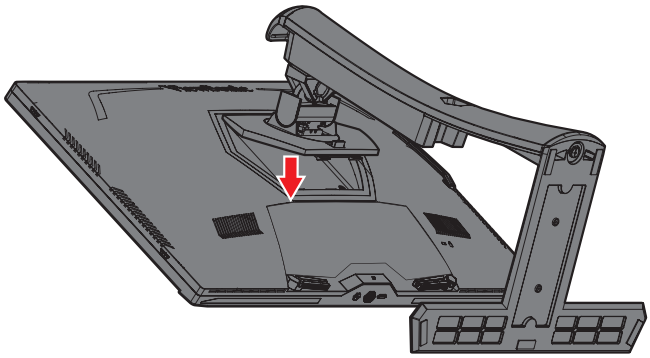
最大荷重	穴パターン（W x H）	インターフェイスパッド (W x H x D)	パッド穴	ネジの仕様および数量
14 kg	100 x 100 mm	115 × 115 × 2.6 mm	Ø 5 mm	M4 x 10 mm 4 個

注意事項： 壁取り付けキットは別売です。

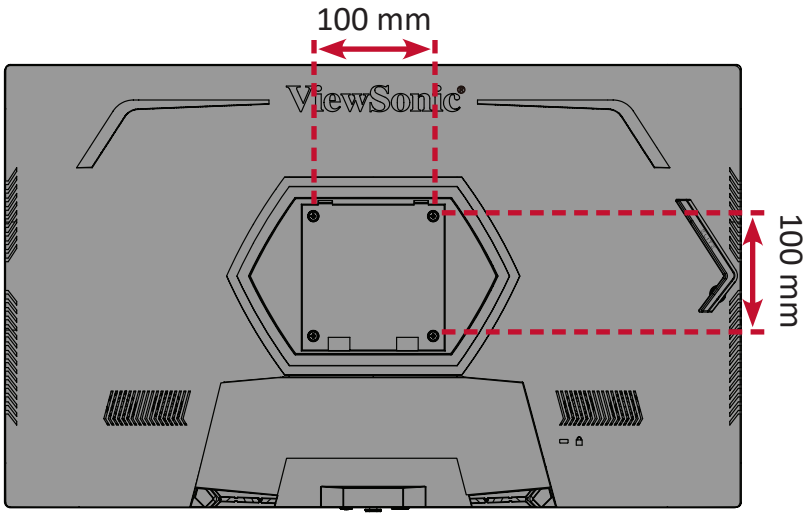
1. 本体の電源を切り、全てのケーブルを外します。
2. 画面を下にした状態で、本体を平らで安定した面に置きます。
3. クイックリリースタブを押しながら、スタンドを注意深く持ち上げます。



4. 少し引き下げてフックを外し、スタンドを外します。



5. 取り付けブラケットを、モニター背面にある VESA 取り付け口に取り付けます。その後 4 箇所を、取り外した 4 本のネジ（M4 × 10mm）で固定します。



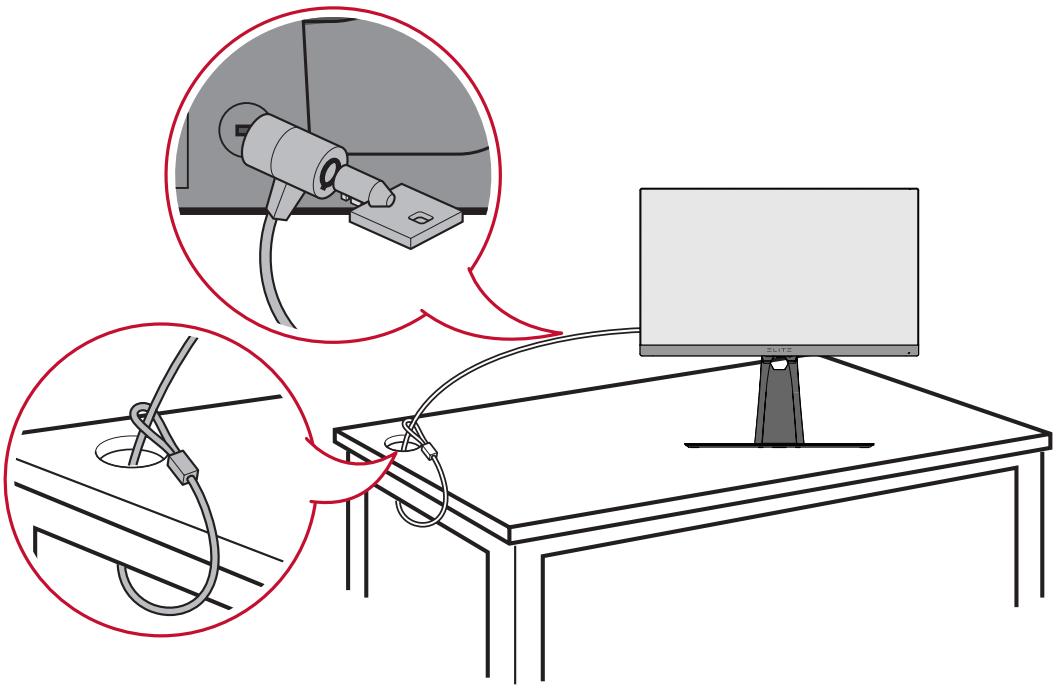
6. お客様が購入された市販の壁取り付けキットに付属の取扱説明書に従い、ディスプレイを壁に取り付けます。

セキュリティスロットの使用

本体の盗難を避けるために、セキュリティスロットロックデバイスを使用して、本体を固定物に固定します。

さらに、セキュリティケーブルを使用してモニターを壁または固定物に固定すると、モニターの重量を支え、モニターの転倒を防ぐことができます。

以下は、テーブルにセキュリティスロットロックデバイスを設定する例です。

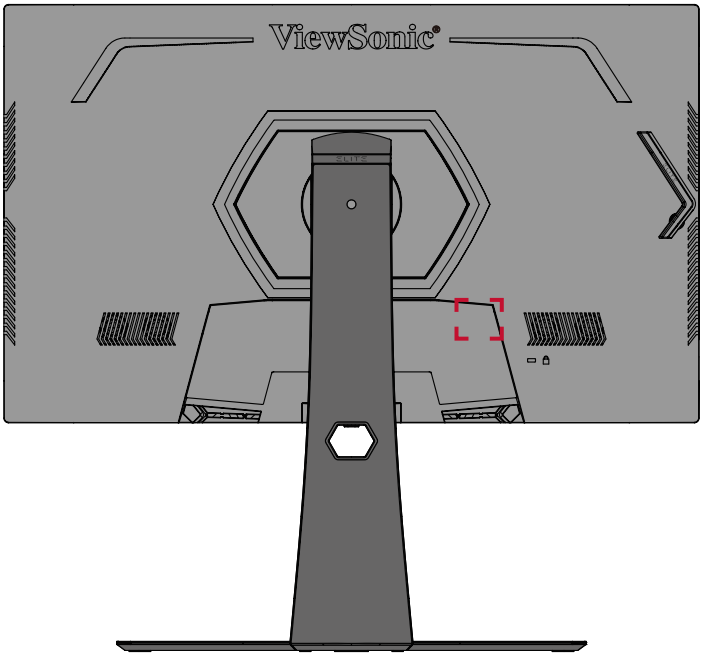


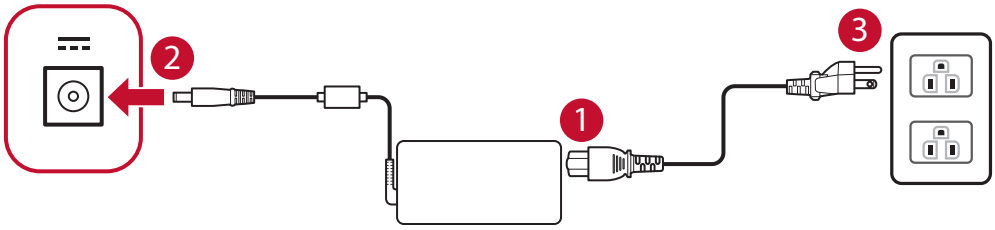
> 本体の接続

本章では、本体と他の装置との接続方法をご説明します。

電源との接続

1. 電源コードを電源アダプタに接続します。
2. 電源コードを本体後側の DC 入力ジャックに接続します。
3. 電源プラグをコンセントに挿し込みます。



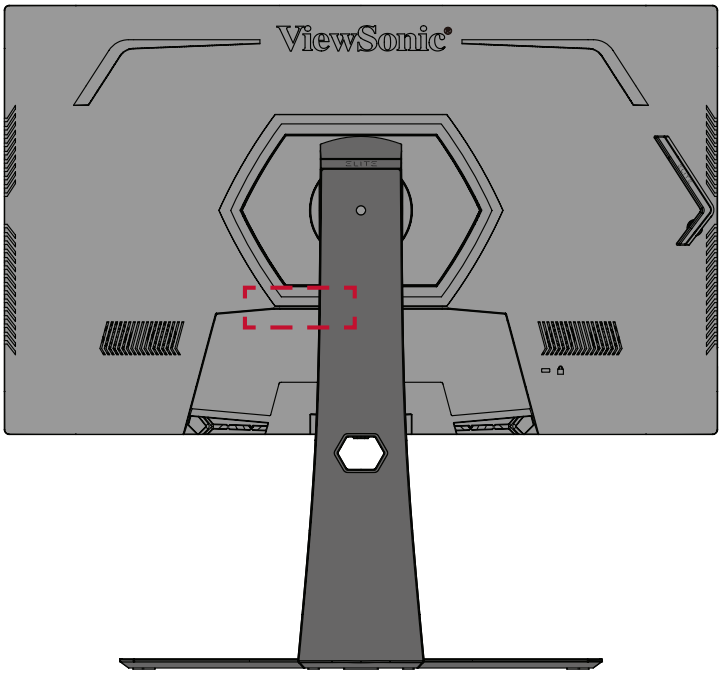


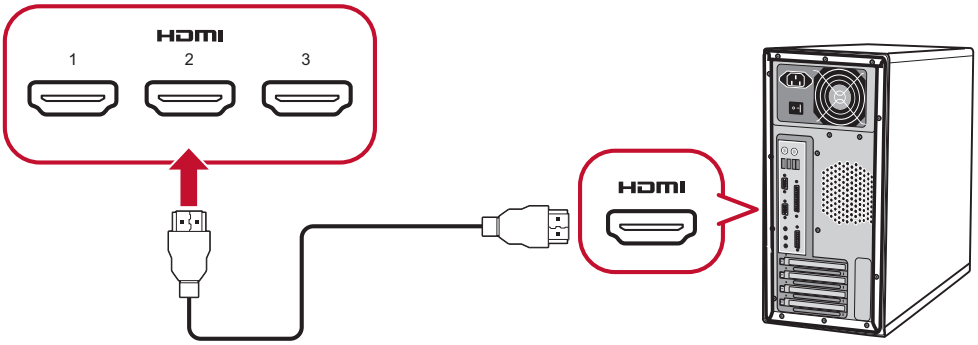
外付け機器との接続

HDMI 接続

HDMI ケーブルの片方をディスプレイ側の HDMI ポートに接続し、もう一方をコンピュータの HDMI ポートに接続します。

注意事項：モニターには HDMI 2.0 ポートが 2 つ搭載されています。

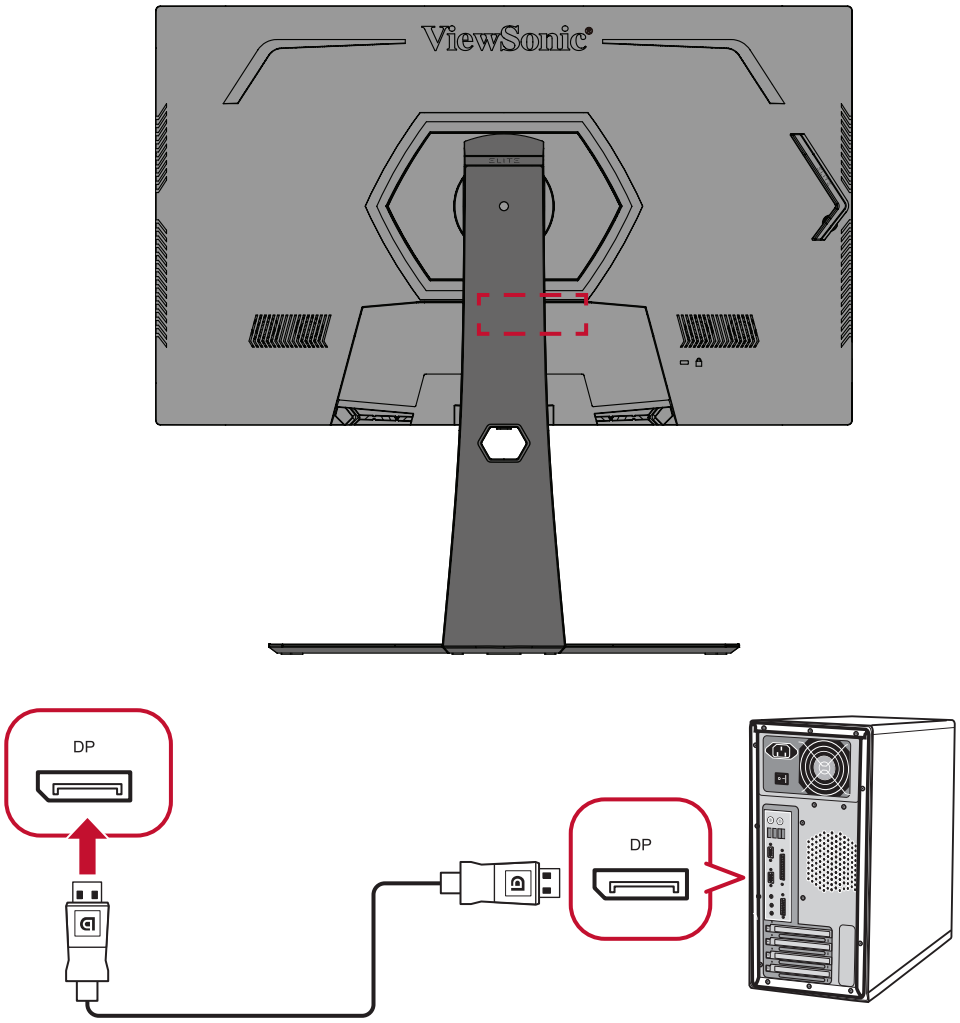




DisplayPort 接続

ケーブルの片方を DisplayPort に接続し、もう一方をコンピュータの DisplayPort または MiniDP ポートに接続します。

注意事項： Mac の Thunderbolt ポート (v.1&2) にディスプレイを接続するには、「Mini DP to DisplayPort ケーブル」の MiniDP の先端を Mac の Thunderbolt 出力に接続します。その後ケーブルのもう一方を、モニターの DisplayPort ポートに接続します。

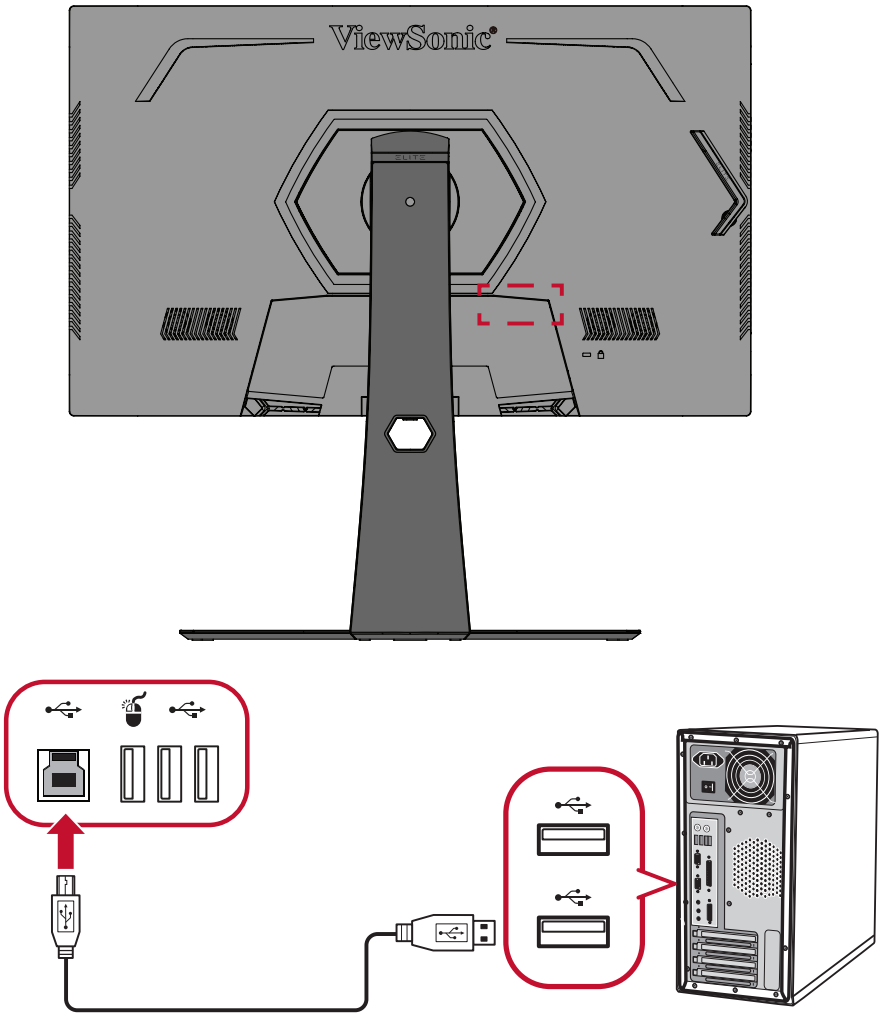


USB 接続

USB ケーブルの片方をディスプレイの USB ポートに接続し、もう一方をコンピュータの USB ポートに接続します。

注意事項： ディスプレイは 2 種類の USB ポートをサポートしています。接続する際は、次のガイドラインに従ってください：

- 3 つの USB タイプ A ポート：タイプ A 周辺機器（ストレージデバイス、キーボード、マウスなど）を接続します。
  - » **注意事項：**周辺機器を使用する場合は、コンピューターがモニターの USB タイプ B ポートにも接続されていることを確認してください。
  - » **注意事項：**NVIDIA Reflex 遅延アナライザーを使用する場合は、マウスのロゴ ( ) が表示された USB ポートへマウスを接続してください。詳細は 49 ページを参照してください。
- 1 つの USB タイプ B ポート：USB B タイプ オスケーブル（2 カ所穴が開いている）を、このポートに接続し、ケーブルのもう一方の先端をコンピュータの USB ダウンストリームポートに接続します。

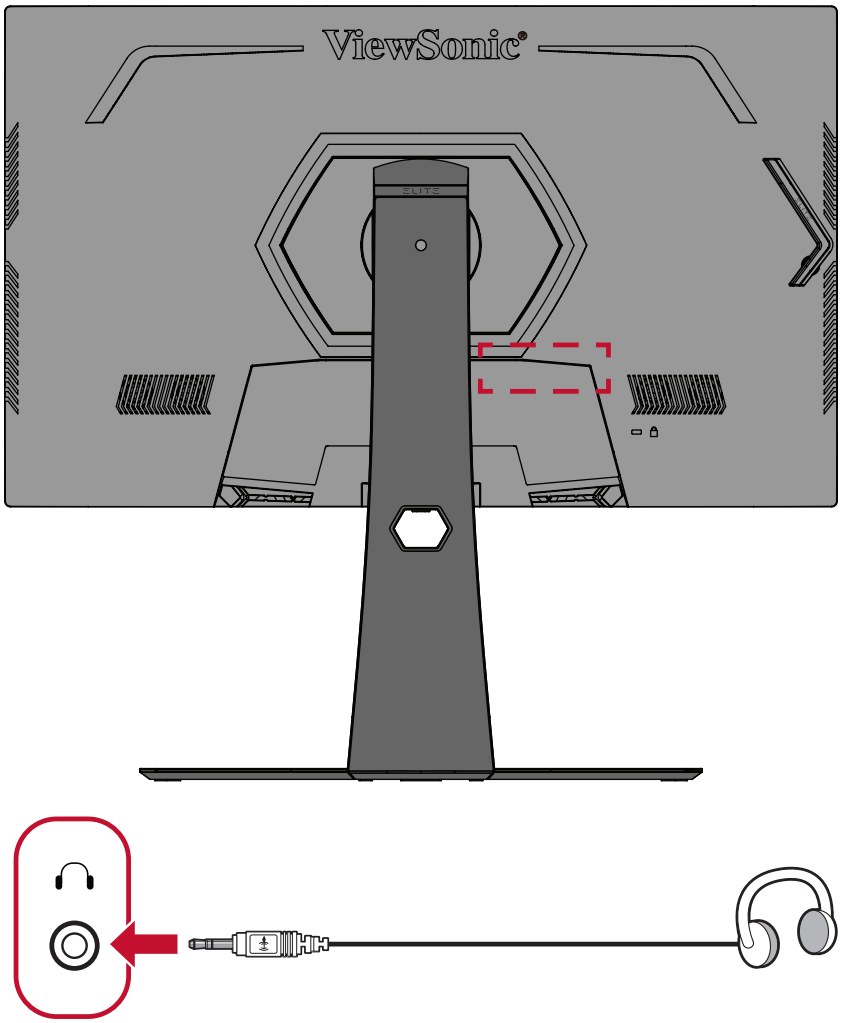


注意事項： USB タイプ B ポートの隣にある USB タイプ A ポートは、5V/2.1A 高速充電をサポートできます。他の 2 つの USB タイプ A ポートは 5V/0.9A 充電をサポートできます。

オーディオ接続

イヤフォン / ヘッドフォンのオーディオジャックを、モニターのオーディオ出力ポートに接続します。他にも、オーディオケーブルを使用して、モニターをサウンドバーに接続することもできます。

注意事項： モニターにはデュアルスピーカーも備わっています。



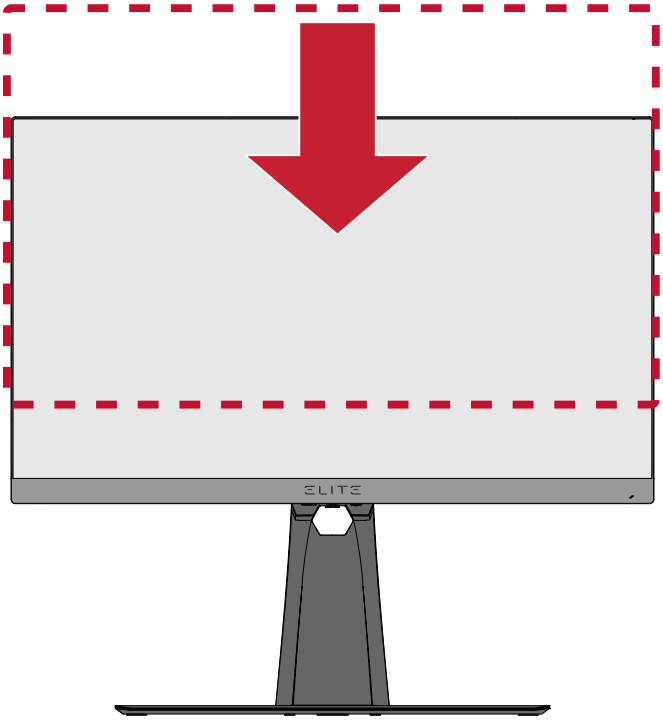
> ディスプレイの使用

視聴角度の調整

快適にご視聴頂けるよう、次の通り角度を調整できます。

高さ調整

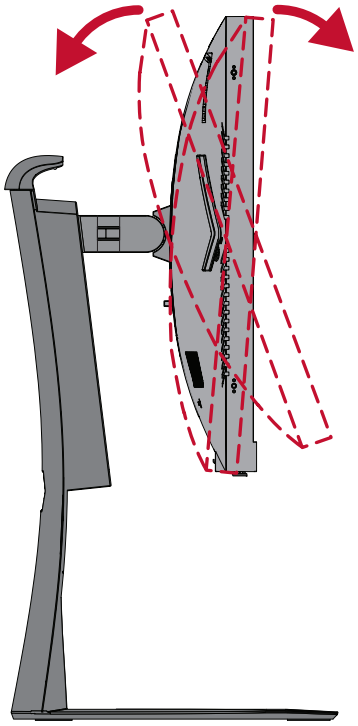
ディスプレイを上下 120 mm、お好みの高さに調整できます。



注意事項： 調整するときは、両手でディスプレイを保持している調整トラックに沿ってしっかりと押し込みます。

傾き角度調整

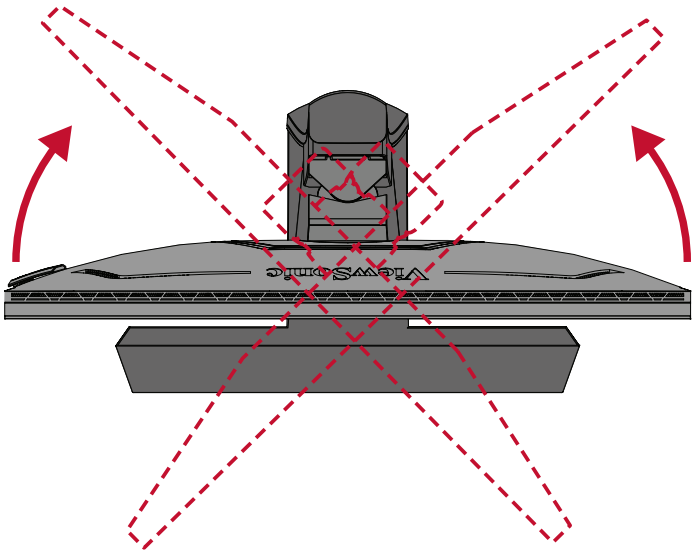
ディスプレイを前後 -5°～ 20°まで、お好きな表示角度に調整できます。



注意事項： 調整するときは、一方の手でスタンドをしっかりと支え、他方の手でモニターを前後に傾けてください。

スウィーベル角度調整

ディスプレイを左右 25°までお好みの表示角度にできます。

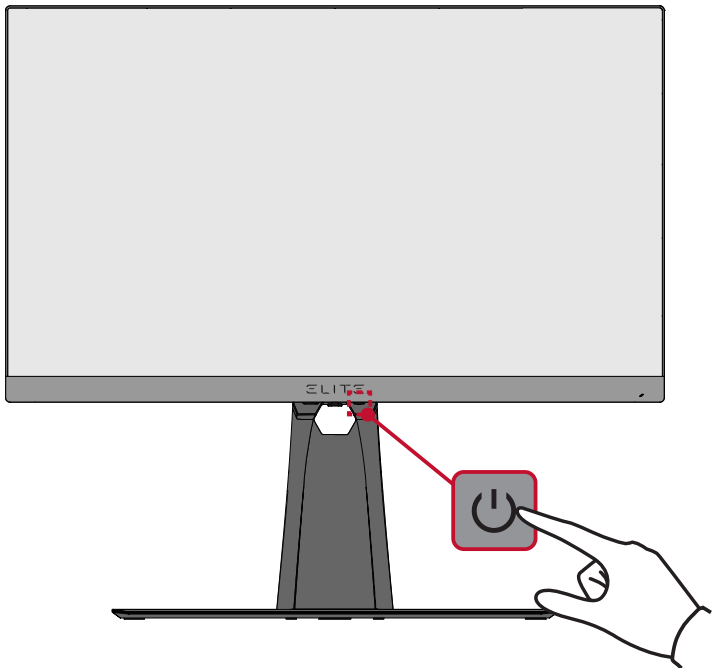


本体電源のオン／オフ

1. 接続した電源コードをコンセントに差し込みます。

2. **電源**ボタンを押して、本体の電源を入れます。

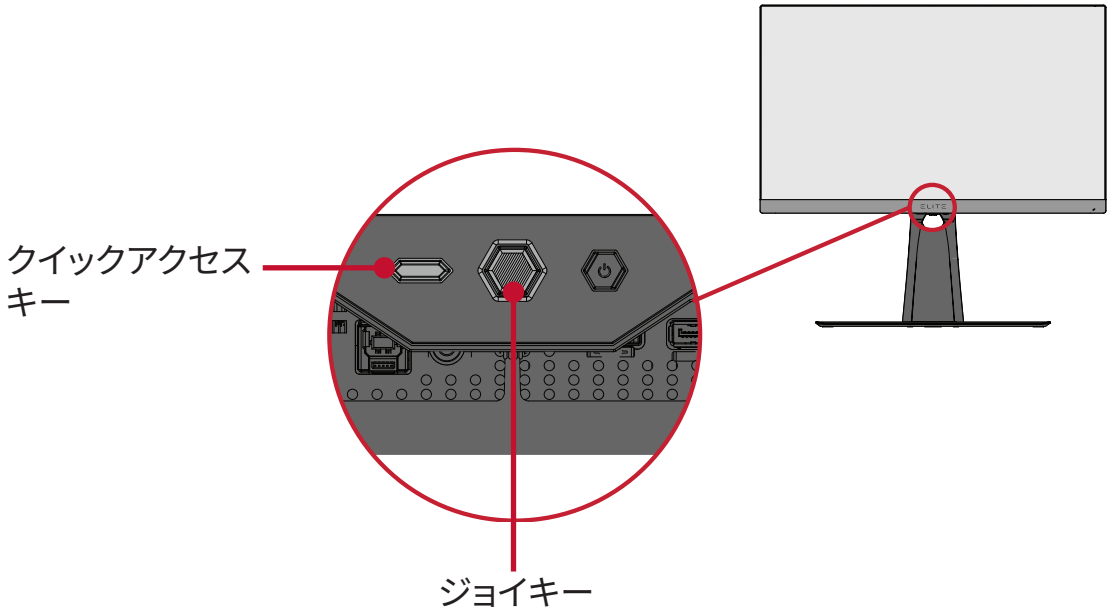
3. 本体の電源を切るには、再度**電源**ボタンを押します。



注意事項： 本体は、電源コードがコンセントに接続されている限り電力を消費します。本体を長期間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

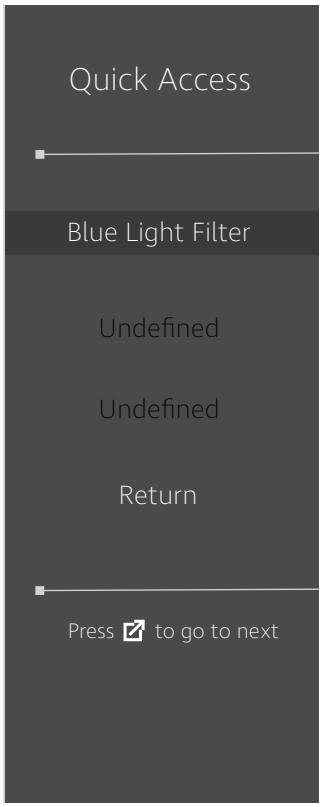
コントロールパネルキー（ボタン）の使用

コントロールパネルのキーを使用して、Quick Access（クイックアクセス）メニューにアクセスし、オンスクリーンディスプレイ（OSD）メニューをナビゲートし、設定を変更します。



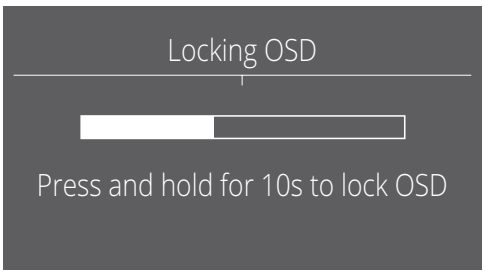
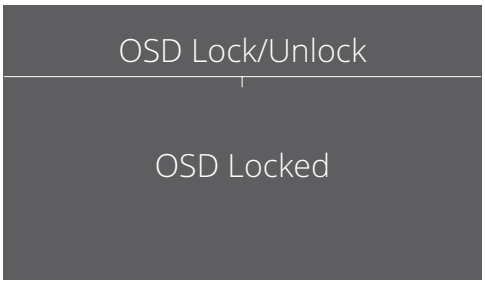
Quick Access Menu（クイックアクセスメニュー）

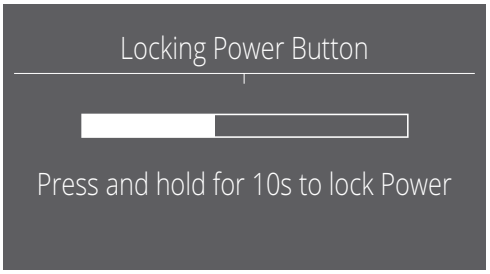
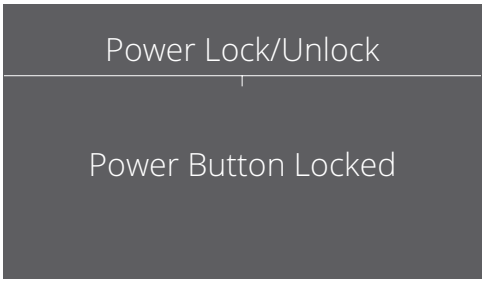
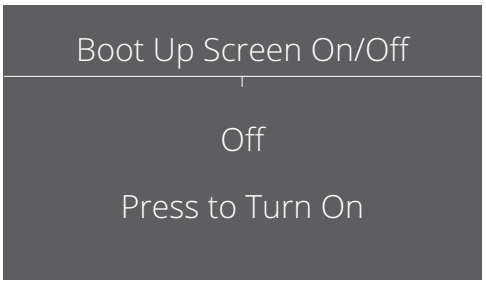
クイックアクセスキーを押して、**Quick Access（クイックアクセス）メニュー**を有効にします。詳細は、53 ページを参照してください。



ホットキー

ディスプレイ上のメインメニューがオフの場合、コントロールパネルのボタンを使用して特別な機能にアクセスできます。

ボタン	詳細
[◄]	キーを5秒間長押しして、OSDメニューのロック/ロック解除を行います。 メニューが画面に表示されたら、そのままキーを10秒間長押しして、OSDメニューのロック/ロック解除をします。  メインメニューがロックされている場合は、画面に以下のメッセージが画面に表示されます。 

ボタン	詳細
[►][1]	キーを10秒間長押しして、電源ボタンのロック/ロック解除を行います。 メニューが画面に表示されたら、キーを10秒間長押しして、電源ボタンのロック/ロック解除を行います。  電源ボタンがロックされている場合は、以下のメッセージが画面に表示されます。 
[▲]	本体に電源が入っている時に、キーを5秒間長押しして、起動画面を表示／非表示にできます。 

1 このキーを押した場合のみ、**Input Select**（**入力選択**）機能を有効にできます。

設定

一般的な操作

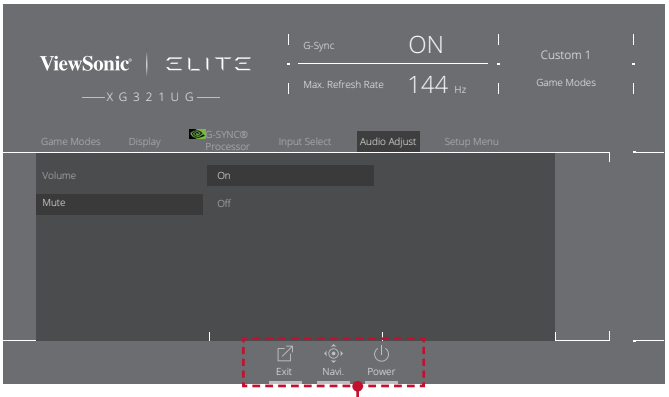
1. **[●]** キーを押すか、ジョイキー **[◄]** または **[▲]**、**[▼]** を動かして、オンスクリーンディスプレイ（OSD）メニューを表示します。

2. ジョイキー **[◄]** または **[►]** を動かして、メインメニューを選択します。次に、ジョイキー **[▼]** を動かして、選択したメニューに入ります。

3. ジョイキー **[▲]** または **[▼]** を動かして、希望のメニューオプションを選択します。次に、ジョイキー **[►]** を動かして、サブメニューに入ります。

4. ジョイキー **[▲]** または **[▼]** を動かして、設定を調整 / 選択します。次に、**[●]** キーを押して、確定します。

注意事項：特定のメニューオプションの調整は、**[●]** キーを押して、選択を確認する必要がありません。



キーガイドアイコン

キーガイドアイコン

5. [◄] キーを押して、前のメニューに戻ります。

注意事項：OSD メニューを終了するには、**Quick Access（クイックアクセス）**（ ）キーを押します。

メインメニュー構成

メインメニュー	サブメニュー	メニューオプション		
Game Modes（ゲームモード）	Standard（標準）	ULMB	Off（オフ）	
			On（オン）	
		ULMB Pulse Width（ULMB パルス幅）	(-/+)	
		Dark Boost（暗いレベルの強調）	Level 1（レベル 1）	
			Level 2（レベル 2）	
			Level 3（レベル 3）	
			Off（オフ）	
		Blue Light Filter（ブルーライト低減）	(-/+, 0~100)	
		Response Time OD（応答速度 OD）	Standard（標準）	
			Advanced（高度）	
			Ultra Fast（スピード 3）	
		Recall（リセット）		
	Custom 1/2（スタム 1/2）	ULMB	Off（オフ）	
			On（オン）	
		ULMB Pulse Width（ULMB パルス幅）	(-/+)	
		Dark Boost（暗いレベルの強調）	Level 1（レベル 1）	
			Level 2（レベル 1）	
			Level 3（レベル 1）	
			Off（オフ）	
		Blue Light Filter（ブルーライト低減）	(-/+, 0~100)	
		Response Time OD（応答速度 OD）	Standard（標準）	
			Advanced（高度）	
			Ultra Fast（スピード 3）	
		Recall（リセット）		
	FPS			
	Battle Royale（バトルロワイアル）			
	MOBA			
	Console（コンソール）			
	Movie（映画）			
	Web（ウェブ）			

メインメニュー	サブメニュー	メニューオプション		
Display（ディスプレイ）	Peak White Nits（ピーク時の白色 Nit）	(-/+, 0~450)		
	Contrast（コントラスト）	(-/+, 0~100)		
	6-axis Color（6 軸カラー）	Red（赤）		
		Green（緑）		
		Blue（青）		
		Cyan（藍色）		
		Magenta（深紅色）		
		Yellow（黄色）		
	Color Temperature（色温度）	sRGB		
		Bluish（青色の濃さ）		
		Native（標準）		
		Warm（暖色）		
		User Color（ユーザーカラー設定）	Red Gain（赤ゲイン）	(-/+, 0~100)
			Blue Gain（青ゲイン）	(-/+, 0~100)
			Green Gain（緑ゲイン）	(-/+, 0~100)
	Gamma（ガンマ調整）	1.8		
		2.0		
		2.2		
		2.4		
		2.6		
	SDR Colors sRGB（SDR カラー sRGB）	On（オン）		
		Off（オフ）		
	SDR Variable BL（SDR 可変バックライト）	On（オン）		
		Off（オフ）		
	HDR Variable BL（HDR 可変バックライト）	On（オン）		
		Off（オフ）		
	DP YCbCR sRGB	On（オン）		
		Off（オフ）		
	HDMI YCbCR sRGB	On（オン）		
		Off（オフ）		
	Scaling Pix Rep（拡張ピクセル Rep）	Fixed Aspect Ratio（固定アスペクト比）		
		Full Screen（フル画面）		
	Variable BL Mode（可変バックライトモード）	Mode 1（モード 1）		
		Mode 2（モード 2）		
		Mode 3（モード 3）		

メインメニュー	サブメニュー	メニューオプション		
G-SYNC Processor（G-SYNC プロセッサー）	NVIDIA Reflex Latency Analyzer（NVIDIA Reflex 遅延アナライザー）	G-SYNC Esports（G-SYNC E スポーツ）	On（オン）	
			Off（オフ）	
		PC + Display Latency（PC + ディスプレイの遅延）	On（オン）	
			Off（オフ）	
		Monitoring Sensitivity（モニタリング感度）	Low（低）	
			Median（中）	
			High（高）	
		Show Monitoring Rectangle（モニタリング矩形の表示）	On（オン）	
			Off（オフ）	
		Rectangle Preset（矩形のプリセット）	Centered（中央）	
			Right Handed（右利き）	
			Left Handed（左利き）	
		Rectangle Location（矩形位置）		
		Rectangle Size（矩形サイズ）		
	FPS	On（オン）		
		Off（オフ）		
	HUD Location（HUD 位置）	Left Top（左上）		
		Right Top（右上）		
		Left Bottom（左下）		
		Right Bottom（右下）		
	HUD Color（HUD 色）	Cyan（藍色）		
		Green（緑）		
		Blue（青）		
		Yellow（黄色）		
Input Select（入力選択）	Auto Switch（自動切換）	On（オン）		
		Off（オフ）		
	HDMI 1			
	HDMI 2			
	DisplayPort			
Audio Adjust（音声調整）	Volume（音量）	(-/+, 0~100)		
	Mute（ミュート）	On（オン）		
		Off（オフ）		

メインメニュー	サブメニュー	メニューオプション		
Setup Menu（設定メニュー）	Language（言語選択）	English		
		Français		
		Deutsch		
		Español		
		Italiano		
		Suomi		
		Русский		
		Türkçe		
		日本語		
		한국어		
		繁體中文		
		简体中文		
		Česká		
		Svenska		
	Resolution Notice（解像度のお知らせ）	On（オン）		
		Off（オフ）		
	Information（インフォメーション）			
	Quick Access（クイックアクセス）	Blue Light Filter（ブルーライト低減）	On（オン）／Off（オフ）	
		ULMB	On（オン）／Off（オフ）	
		Standard（標準）	On（オン）／Off（オフ）	
		Custom 1（カスタム 1）	On（オン）／Off（オフ）	
		Custom 2（カスタム 2）	On（オン）／Off（オフ）	
		FPS	On（オン）／Off（オフ）	
		Battle Royale（バトルロワイアル）	On（オン）／Off（オフ）	
		MOBA	On（オン）／Off（オフ）	
		Console（コンソール）	On（オン）／Off（オフ）	

メインメニュー	サブメニュー	メニューオプション		
Setup Menu（設定メニュー）	Crosshair（十字線）	Type（タイプ）	Type A（タイプ A）	
			Type B（タイプ B）	
			Type C（タイプ C）	
		Color（色）	Green（緑）	
			White（白色）	
			Yellow（黄色）	
		Off（オフ）		
	Elite RGB（エリート RGB）	Rear（リア）	Rainbow（レインボー）	
			Breathing（ブリージング）	
			Stack（スタック）	
			Others（その他）	
		Base（ベース）	Rainbow（レインボー）	
			Breathing（ブリージング）	
			Stack（スタック）	
			Others（その他）	
		Always On（常時オン）	On（オン）	
			Off（オフ）	
		Reset（リセット）		
		On（オン）		
		Off（オフ）		
	OSD Timeout（OSD 表示時間）	5/15/30/60		
	OSD Background（OSD 背景）	On（オン）		
		Off（オフ）		
	Power Indicator（電源インジケーター）	On（オン）		
		Off（オフ）		

メインメニュー	サブメニュー	メニューオプション	
Setup Menu（設定メニュー）	Standby Charger（スタンバイ充電器）	Off（オフ）	
		On（オン）	
	Sleep（スリープ）	30 Minutes（30 分）	
		45 Minutes（45 分）	
		60 Minutes（60 分）	
		120 Minutes（120 分）	
		Off（オフ）	
	Deep Sleep（ディープスリープ）	HDMI Deep Sleep（HDMI ディープスリープ）	
		DisplayPort Deep Sleep（DisplayPort ディープスリープ）	
	ECO Mode（エコモード）	Standard（標準）	
		Optimize（最適化）	
		Conserve（省電力モード）	
	All Recall（メモリリセット）		

メニューオプション

Game Modes（ゲームモード）

1. **[●]** キーを押すか、ジョイキー **[◄]** または **[▲]**、**[▼]** を動かして、オンスクリーンディスプレイ（OSD）メニューを表示します。
2. ジョイキー **[◄]** または **[►]** を動かして、**Game Modes（ゲームモード）**を選択します。次に、ジョイキー **[▼]** を動かして、**Game Modes（ゲームモード）**メニューに入ります。

3. ジョイキー **[▲]** または **[▼]** を動かして、設定を選択します。次に、**[●]** キーを押して、選択を確定します。

メニューオプション	詳細
Standard（標準）	一般的な使用の場合は、このオプションを選択します。
Custom 1/2（スタム 1/2）	2 つのカスタマイズ可能な「カスタム」設定により、個々の好みを一致させ、市場のあらゆる種類のゲームに適応させることができます。
FPS	一人称シューティングゲームに最適です。
Battle Royale（バトルロワイアル）	バトルロワイヤルゲーム用に調整します。
MOBA	マルチプレイヤーオンラインバトルアリーナゲームの場合は、このオプションを選択します。
Console（コンソール）	コンソールでの」使用に重点を置いた色精度に調整します。
Movie（映画）	映画を鑑賞する場合はこのオプションを選択します。
Web（ウェブ）	ウェブを閲覧する場合はこのオプションを選択します。

Display（ディスプレイ）

1. **[●]** キーを押すか、ジョイキー **[◄]** または **[▲]**、**[▼]** を動かして、オンスクリーンディスプレイ（OSD）メニューを表示します。
2. ジョイキー **[◄]** または **[►]** を動かして、**Display（ディスプレイ）**を選択します。次に、ジョイキー **[▼]** を動かして、**Display（ディスプレイ）**メニューに入ります。

3. ジョイキー **[▲]** または **[▼]** を動かして、メニューオプションを選択します。次に、ジョイキー **[►]** を動かして、サブメニューに入ります。
4. ジョイキー **[▲]** または **[▼]** を動かして、設定を調整 / 選択します。次に、**[●]** キーを押して、確定します（該当する場合）。

注意事項： 一部のサブメニューオプションには、別のサブメニューが含まれる場合があります。それぞれのサブメニューに入るには、ジョイキー **[►]** を動かします。

メニューオプション	詳細
Auto Brightness (自動輝度)	輝度の自動調整。周囲の明るさに応じて、最大輝度を調整します。
Auto Black Level (自動ブラックレベル)	ブラックレベルの自動調整。周囲の明るさに応じて黒レベルを上げることで、人間の目にさまざまな色合いのグレー色が見えるようにします。
Contrast （コントラスト）	画面の明暗を調整することができます。
6-axis Color （6 軸カラー）	赤、緑、青、藍色、深紅色、黄色を調節します。

メニューオプション	詳細
Color Temperature （色温度）	色温度を選択し設定することができます。 • sRGB: 輝度が低くなり自然色が多くなります。 • Bluish（青色の濃さ）：色温度を 9300K に設定します。 • Cool（寒色）：色温度を 7,500K に設定します。 • Native（標準）：デフォルトの色温度です。通常の使用に推奨されます。 • Warm（暖色）：色温度を 5,000K に設定します。 • Full Color Control（フルカラーコントロール）：RGB の値をお好みに設定できます。
Gamma （ガンマ調整）	モニターのグレイスケールレベルの輝度レベルを手動で調整できます。
SDR Colors sRGB （SDR カラー sRGB）	SDR モードでのみ有効です。 **Off（オフ）**：sRGB の色空間を無効にします。 **On（オン）**：sRGB の色空間を有効にします。 **注意事項：** • Windows システムでは sRGB をオンにする必要があります。 • Mac システムでは Wide Gamut モードをオフにする必要があります。
SDR Variable BL （SDR 可変バックライト）	SDR モードで使用されるバックライトモードを設定します。
HDR Variable BL （HDR 可変バックライト）	HDR モードで使用されるバックライトモードを設定します。
DP YCbCR sRGB	SDR モードの DP 入力で YCbCR フォーマットのガンマ曲線を選択します。 有効（デフォルト）にすると、DP 入力は sRGB ガンマを使用して YCbCr 入力を表示します。 無効にすると、DP 入力は BT1886 ガンマを使用して YCbCR 入力を表示します。

メニューオプション	詳細
HDMI YCbCR sRGB	SDR モードの HDMI 入力で YCbCR フォーマットのガンマ曲線を選択します。 有効にすると、HDMI 入力は sRGB ガンマを使用して YCbCR 入力を表示します。 無効（デフォルト）にすると、HDMI 入力は BT1886 ガンマを使用して YCbCR 入力を表示します。
Scaling Mode（拡大縮小モード）	固定アスペクト比／フル画面 入力ソースを画面いっぱいに拡大しますが、タイミングの H/V 比は維持します。
Scaling Pix Rep（拡張ピクセル Rep）	Aspect (縦横比) 入力ソースを画面全てに拡張しますが、タイミングの H/V 比を維持します。 1:1 スケーリング機能はオフになります。
Variable BL Mode（可変バックライトモード）	可変バックライトモードが有効の際に、可変バックライトの基本応答時間を設定します。 モード 1 ゲームに適しています。 モード 2 ミディアム設定。 モード 3 仕事やタイプ入力などに適しています。

G-SYNC Processor（G-SYNC プロセッサー）

1. **[●]** キーを押すか、ジョイキー **[◄]** または **[▲]**、**[▼]** を動かして、オンスクリーンディスプレイ（OSD）メニューを表示します。
2. ジョイキー **[◄]** または **[►]** を動かして、**G-SYNC Processor（G-SYNC プロセッサー）**を選択します。次に、ジョイキー **[▼]** を動かして、**G-SYNC Processor（G-SYNC プロセッサー）**メニューに入ります。

3. ジョイキー **[▲]** または **[▼]** を動かして、メニューオプションを選択します。次に、ジョイキー **[►]** を動かして、サブメニューに入ります。

メニューオプション	詳細
G-SYNC e スポーツ	e スポーツの対戦プレイに最適な設定です。
NVIDIA Reflex Latency Analyzer（NVIDIA Reflex 遅延アナライザー）	ゲームの遅延を最適化して測定します。
FPS	リフレッシュレート値を画面に表示します。
HUD Location（HUD 位置）	リフレッシュレート値の位置を調整します。
HUD Color（HUD 色）	リフレッシュレート値の色を調整します。

Input Select（入力選択）

1. **[●]** キーを押すか、ジョイキー **[◄]** または **[▲]**、**[▼]** を動かして、オンスクリーンディスプレイ（OSD）メニューを表示します。
2. ジョイキー **[◄]** または **[►]** を動かして、**Input Select（入力選択）**を選択します。次に、ジョイキー **[▼]** を動かして、**Input Select（入力選択）**メニューに入ります。

3. ジョイキー **[▲]** または **[▼]** を動かして、希望の入力ソースを選択します。次に、**[●]** キーを押して、選択を確定します。

Audio Adjust（音声調整）

1. **[●]** キーを押すか、ジョイキー **[◄]** または **[▲]**、**[▼]** を動かして、オンスクリーンディスプレイ（OSD）メニューを表示します。
2. ジョイキー **[◄]** または **[►]** を動かして、**Audio Adjust（オーディオ調整）**を選択します。次に、ジョイキー **[▼]** を動かして、**Audio Adjust（オーディオ調整）**メニューに入ります。

3. ジョイキー **[▲]** または **[▼]** を動かして、希望のオプションを選択します。次に、ジョイキー **[►]** を動かして、サブメニューに入ります。
4. ジョイキー **[▲]** または **[▼]** を動かして、設定を調整 / 選択し、**[●]** キーを押して、選択を確定します（該当する場合）。

メニューオプション	詳細
Volume（音量）	音量レベルを調整します。
Mute（ミュート）	サウンドを有効 / 無効にします。

Setup Menu（設定メニュー）

1. **[●]** キーを押すか、ジョイキー **[◄]** または **[▲]**、**[▼]** を動かして、オンスクリーンディスプレイ（OSD）メニューを表示します。
2. ジョイキー **[◄]** または **[►]** を動かして、**Setup（設定）メニュー**を選択します。次に、ジョイキー **[▼]** を動かして、**Setup（設定）メニュー**メニューに入ります。

3. ジョイキー **[▲]** または **[▼]** を動かして、メニューオプションを選択します。次に、ジョイキー **[►]** を動かして、サブメニューに入ります。
4. ジョイキー **[▲]** または **[▼]** を動かして、設定を調整 / 選択します。次に、**[●]** キーを押して、確定します（該当する場合）。

注意事項： 一部のサブメニューオプションには、別のサブメニューが含まれる場合があります。それぞれのサブメニューに入るには、ジョイキー **[►]** を動かします。

メニューオプション	詳細
Language（言語選択）	OSD メニューで使用可能な言語を選択します。
Energy Saving（省エネ）	有効にすると、消費電力を抑えます。
Resolution Notice（解像度のお知らせ）	このオプションを有効にすると、現在の画面解像度が間違っていることをユーザーに通知することができます。
Information（インフォメーション）	ディスプレイ情報を表示します。
Quick Access（クイックアクセス）	クイックアクセスメニューに表示するオプションを選択します。
Crosshair（十字線）	画面上のオーバーレイを使用して、FPS ゲーム中により明確かつ迅速に狙えるようにします。詳細については、55 ページを参照してください。

メニューオプション	詳細
Elite RGB （エリート RGB）	この設定ではモニターの裏側とベゼルの下にある RGB 照明を操作して、RGB のエクスペリエンスを向上させます。スイッチがオンになった時、またはリセット後に、デフォルトの「ブリージング」が有効になります。 更に、RGB ライトは、複数の主要パートナーとも同期されています。主要パートナーのソフトウェアをダウンロードすることで、RGB 機能を更に自由に操作できるようになります。 パートナーから提供されるソフトウェアを利用される場合は、以下の詳細設定を御覧ください。 <u>パートナーソフトウェアの RGB セットアップ</u> • https://www.viewsonic.com/elite/rgb/ にアクセスして、パートナー RGB ソフトウェアを選択して、ダウンロードしてください。 • 選択したソフトウェアをダウンロードおよびインストールします。 • モニターには USB 3.0 A - オス型・ツー・B- オス型ケーブルが付属されています。USB 3.0 B- オス型コネクタをモニターに接続し、USB 3.0 A- オス型コネクタを PC に接続します。 • パートナーのソフトウェアを起動して、RBG 照明をカスタマイズしてください！ また、https://www.viewsonic.com/elite/rgb/ で、RGB ソフトウェアセットアップチュートリアルをオンラインで確認することもできます。 * モードのバリエーション、カスタマイズ機能およびその他の機能または使用については、パートナーのソフトウェアで指定または提供されている事項に従い、利用規約、エンドユーザー向け使用許諾契約、およびソフトウェア機能に基づき、またこれらに従うものとします。
OSD Timeout（OSD 表示時間）	OSD メニューを画面に表示しておく時間を調整します。
OSD Background （OSD 背景）	OSD メニューが画面に表示された時の、OSD 背景の表示／非表示を設定します。
Power Indicator （電源インジケーター）	電源インジケーターのオンまたはオフを設定します。オンに設定している場合は、電源が入っている時に表示ランプが青く点灯します。
Standby Charger （スタンバイ充電器）	有効にすると、モニターがスタンバイモードになっていても、USB は電力を供給し続けます。
Sleep（スリープ）	ディスプレイが「スリープモード」に入るまでの待機時間を設定します。

メニューオプション	詳細
Deep Sleep （ディープスリープ）	DisplayPort ディープスリープ DisplayPort ポートをディープスリープ状態にします。 HDMI ディープスリープ HDMI ポートをディープスリープ状態にします。
ECO Mode （エコモード）	消費電力に基づいて、様々なモードの中からユーザーが選択することができます。
HDMI 120Hz	HDMI 入力の 120Hz を有効 / 無効にします。
All Recall （メモリリセット）	すべての設定をデフォルト値にリセットします。

> 拡張機能と設定

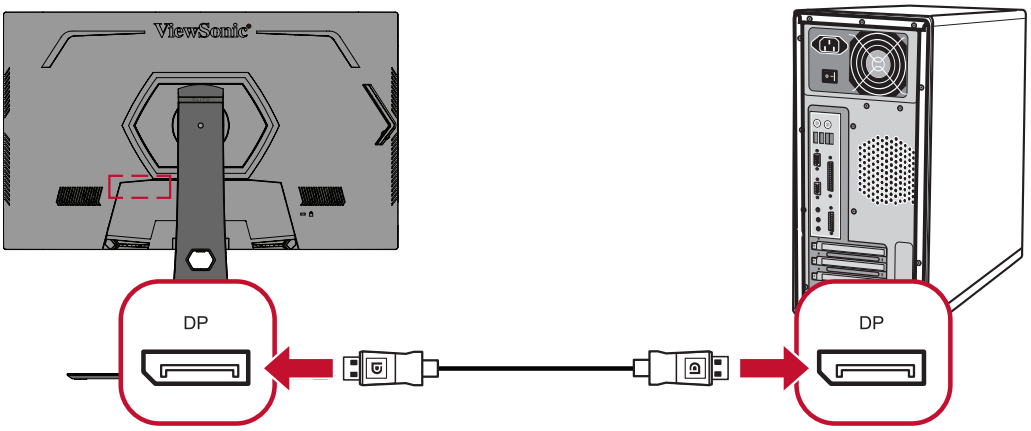
本セクションではモニターの拡張機能と設定について説明します。

NVIDIA Reflex Latency Analyzer（NVIDIA Reflex 遅延アナライザー）

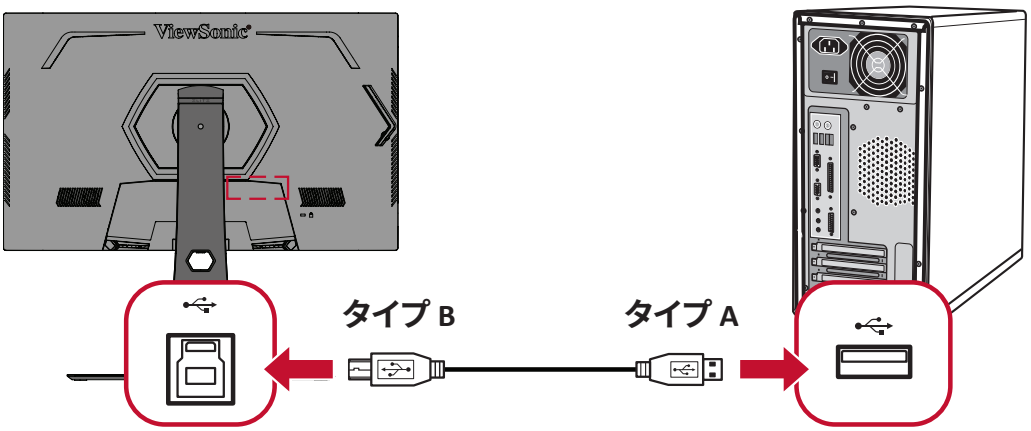
NVIDIA Reflex は、周辺機器（マウスなど）と PC/ ディスプレイの間の入力遅延を減らすことでレイテンシを減少させ、パフォーマンスとゲーム体験を改善させます。

NVIDIA Reflex 遅延アナライザーを使用するには：

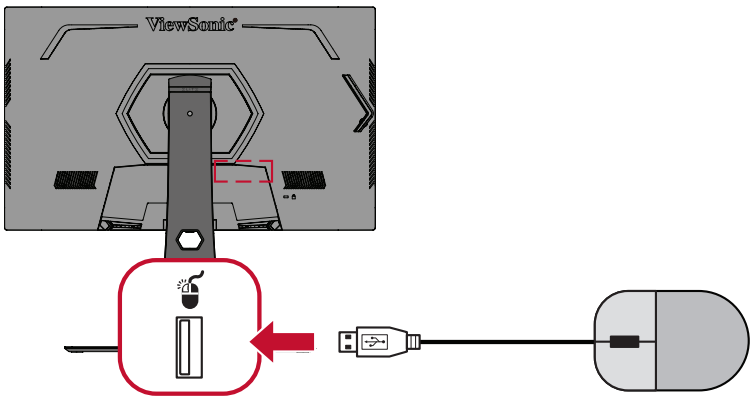
1. DisplayPort 経由でモニターを GeForce GPU へ接続します。



2. USB Type B ケーブルがモニターとコンピューターへ接続されていることを確かめます。



3. *NVIDIA Reflex 対応*マウスを、モニター背面のマウスアイコン（ ）が表示された USB Type A ポートへ接続します。



4. モニターの OSD メニューで **NVIDIA Reflex Latency Analyzer（NVIDIA Reflex 遅延アナライザー）**をオンにします。
   » **[●]** キーを押すか、ジョイキー **[◄]** または **[▲]**、**[▼]** を動かして、オンスクリーンディスプレイ（OSD）メニューを表示します。
   » ジョイキーを動かして、次へ移動します：**G-SYNC Processor（G-SYNC プロセッサー）** > **NVIDIA Reflex Latency Analyzer（NVIDIA Reflex 遅延アナライザー）** > **PC + Display Latency（PC + ディスプレイの遅延）** > **On（オン）**。

5. **Monitoring Rectangle（モニタリング矩形）**を設定します。

   NVIDIA Reflex 遅延アナライザーは、画面上の点滅や明るい変化を測定します。測定は **Monitoring Rectangle（モニタリング矩形）**内で行われます。

   遅延を測定するために、**Monitoring Rectangle（モニタリング矩形）**は、マウスの左ボタンを押した際に点滅や輝度の変化が画面上で発生する場所へ移動する必要があります（FPS ゲームで武器の銃口が存在する場所など）。

   OSD メニューにて：
   » **[●]** キーを押すか、ジョイキー **[◄]** または **[▲]**、**[▼]** を動かして、オンスクリーンディスプレイ（OSD）メニューを表示します。
   » ジョイキーを動かして、次へ移動します：**G-SYNC Processor（G-SYNC プロセッサー）** > **NVIDIA Reflex Latency Analyzer（NVIDIA Reflex 遅延アナライザー）** > **Rectangle Location（矩形位置）**で、**Monitoring Rectangle（モニタリング矩形）**の位置を調整します。

   注意事項：
   - **Rectangle Preset（矩形のプリセット）**でプリセット位置を選択できます。
   - モニタリング矩形のサイズは **Rectangle Size（矩形サイズ）**で調整できます。

6. マウスの左ボタンを押して、PC + ディスプレイの遅延を測定できるようになります。

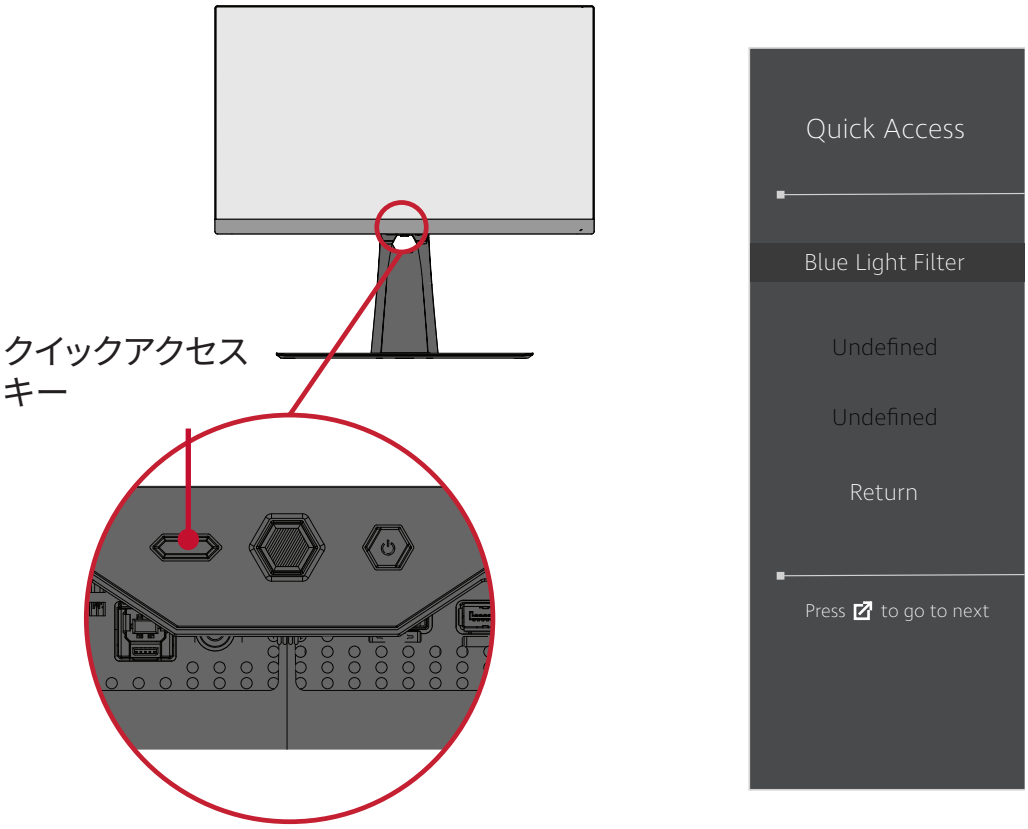
詳細は、次を参照してください：https://www.nvidia.com/en-us/geforce/news/reflex-latency-analyzer-360hz-g-sync-monitors/

ブルーライト低減および目の健康

ブルーライト低減は高エネルギーのブルーライトを遮断し、より快適な視聴体験を実現します。

クイックアクセスブルーライト低減の設定

ブルーライト低減の有効化と無効化は、**クイックアクセスキー**を介してその場で実行できます。



注意事項： **クイックアクセスキー**を介してブルーライト低減（BLF）を有効にすると、BLF 値は 100 になり、TÜV によって認証されます。ただし、ユーザーが**クイックアクセスキー**を介して別の機能を選択した場合、BLF 値は 0 になります。

モニターを使用して楽しむときは、次の点に注意してください。

- コンピュータ画面を長時間見続けると、目の炎症や不快感を引き起こすことがあります。これらの影響を軽減するには、目を弛緩させるために定期的に目を画面から離すことをお勧めします。
- ユーザーは、**Game Modes（ゲームモード）メニュー**を使用してブルーライト低減値をカスタマイズできます。

- モニターはフリッカーフリーにも対応しています。フリッカーフリーは画面のちらつきを軽減または排除するため、目の疲れを軽減します。

休憩の計算

モニターを長時間見ているときは、定期的に休憩することをお勧めします。1 ～ 2 時間連続して視聴した後、少なくとも 5 分の短い休憩をお勧めします。

より短い、より頻繁な休憩を取ることは、頻度の少ない長い休憩よりも一般的に有益です。

遠くの物を見る

休憩中は、離れた場所に集中することで、目の疲れや乾燥をさらに軽減できます。

目と首の運動

目の運動

目の運動は目の疲れを最小限に抑えるのに役立ちます。ゆっくりと目を左、右、上、下に回転させます。必要な回数だけ繰り返します。

首の運動

首の運動も目の疲れを最小限に抑えるのに役立ちます。腕をリラックスして脇にぶら下げ、少し前に曲げて首を伸ばし、頭を右および左に向けます。必要な回数だけ繰り返します。

Quick Access (クイックアクセス)

クイックアクセスキーとメニューを使用して、いくつかの機能とモードをすばやく開始します。ユーザーは、OSD の **Setup Menu（設定メニュー）**を介して、クイックアクセスメニューで希望する機能またはモードを定義することもできます。**クイックアクセスキー**を押すと、機能 / モードが直ちに有効になります。

注意事項： Quick Access（クイックアクセス）メニューは、3 秒後に自動的に消えます。

クイックアクセスキーのクイックアクセス機能を変更するには：

1. **[●]** キーを押すか、ジョイキー **[◄]** または **[▲]**、**[▼]** を動かして、オンスクリーンディスプレイ（OSD）メニューを表示します。
2. ジョイキー **[◄]** または **[►]** を動かして、**Setup Menu（設定メニュー）**を選択します。次に、ジョイキー **[▼]** を動かして、**Setup Menu（設定メニュー）**メニューに入ります。
3. ジョイキー **[▲]** または **[▼]** を動かして、**Quick Access（クイックアクセス）**を選択します。次に、ジョイキー **[►]** を動かして、サブメニューに入ります。
4. ジョイキー **[▲]** または **[▼]** を動かして、お好みを選択します。次に、**[●]** キーを押して、選択を確定します。

Elite RGB Lighting（エリート RGB 照明）

この設定ではモニターの裏側とベゼルの下にある RGB 照明を操作します。「On（オン）」の場合、またはリセット後に、デフォルトの「ブリージング」モードが有効になります。

Elite RGB メニューに入るには：

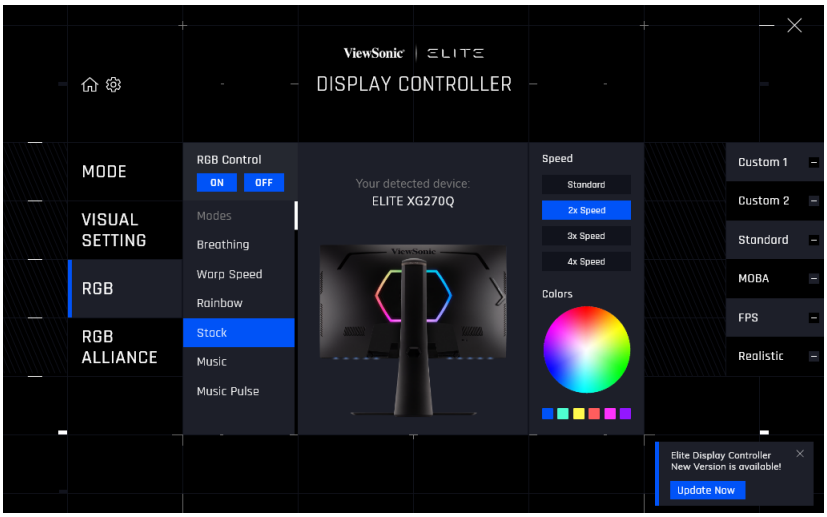
1. **[●]** キーを押すか、ジョイキー **[◄]** または **[▲]**、**[▼]** を動かして、オンスクリーンディスプレイ（OSD）メニューを表示します。
2. ジョイキー **[◄]** または **[►]** を動かして、**Setup Menu（設定メニュー）**を選択します。次に、ジョイキー **[▼]** を動かして、**Setup Menu（設定メニュー）**メニューに入ります。
3. ジョイキー **[▲]** または **[▼]** を動かして、**Elite RGB** を選択します。次に、ジョイキー **[►]** を動かして、サブメニューに入ります。
4. ジョイキー **[▲]** または **[▼]** を動かして、お好みを選択します。次に、**[●]** キーを押して、選択を確定します。

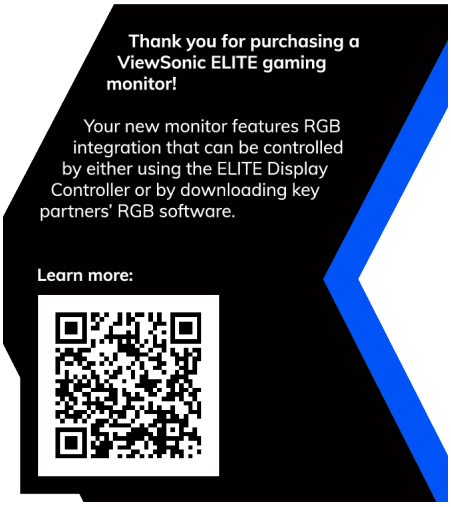
注意事項： 一部のサブメニューオプションには、別のサブメニューが含まれる場合があります。それぞれのサブメニューに入るには、ジョイキー **[►]** を動かします。

更に、RGB バックライトは、複数の主要パートナーとも同期されています。主要パートナーのソフトウェアをダウンロードすることで、RGB 機能を更に調節できるようになります。

パートナー RGB ソフトウェアをセットアップするには：

1. アクセス先：https://www.viewsonic.com/elite/rgb/
2. パートナー RGB ソフトウェアを選択し、ダウンロードします。
3. USB タイプ B ケーブルの端をモニターに接続し、もう一方の端をコンピュータに接続します。
4. パートナーのソフトウェアを起動およびインストールします。
5. モニターの RGB 照明のカスタマイズを開始します。





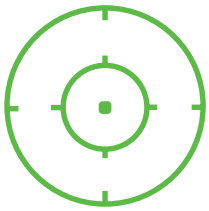
Crosshair（十字線）

画面にオーバーレイするさまざまな十字線のスタイルと色から選択します。

十字線機能をオンにする方法：

1. **[●]** キーを押すか、ジョイキー **[◄]** または **[▲]**、**[▼]** を動かして、オンスクリーンディスプレイ（OSD）メニューを表示します。
2. ジョイキー **[◄]** または **[►]** を動かして、**Setup Menu（設定メニュー）**を選択します。次に、ジョイキー **[▼]** を動かして、**Setup Menu（設定メニュー）**に入ります。
3. ジョイキー **[▲]** または **[▼]** を動かして、**Crosshai r（十字線）**を選択します。次に、ジョイキー **[►]** を動かして、選択を確定します。
4. ジョイキー **[▲]** または **[▼]** を動かして、希望の十字線のスタイルと色を選択します。次に、**[●]** キーを押して、選択を確定します。

注意事項：確認前に、OSD メニューの右側に十字線のプレビュー画像（タイプと色）が表示されます。

Crosshair（十字線）	詳細
Type A（タイプ A）	
Type B（タイプ B）	
Type C（タイプ C）	

注意事項：このメッセージボックスは十字線と共に表示され、3 秒後に自動的に消えます。

> 付録

仕様

項目	区分	仕様
LCD	タイプ	TFT、アクティブマトリックス 3840 x 2160 LCD、 0.1845 mm x 0.1845 mm ピクセル ピッチ
	画面サイズ	81.29 cm、32 インチ
	カラーフィルタ	RGB 垂直ストライプ
	表面素材	防眩タイプ、3H ハードコート加工
入力信号	ビデオシンク	TMDS デジタル（100 Ω） HDMI：f_h:30-150 Khz、f_v:24-144 Hz DisplayPort：f_h:255-255 Khz、f_v:1-144 Hz
互換性	PC	3840 x 2160 ピクセル以下
	Macintosh	3840 x 2160 ピクセル以下
	推奨周波数	HDMI: 3840 x 2160 @ 120Hz 8bpc w/o HDR DP: 3840 x 2160 @ 144Hz, DSC
解像度 [1]	対応	• 3840 x 2160 @ 60, 120(HDMI), 144Hz(DP) • 2560 x 1440 @ 60, 120, 144Hz • 1920 x 1080 @ 60, 120Hz • 1280 x 720 @ 50, 60Hz • 1024 x 768 @ 60Hz • 800 x 600 @ 60Hz • 720 x 576 @ 50Hz • 720 x 480 @ 60Hz • 640 x 480 @ 60Hz
電源アダプタ [2]	入力電圧	100-240VAC, 50/60Hz (自動切替)
表示領域	全領域 (H × V)	708.48 x 398.52 mm (27.89” x 15.69”)
動作環境	気温	0° C ～ 40° C（32° F ～ 104° F）
	湿度	20% ～ 90% (非結露)
	高度	3.048 km（10,000 フィート）
保管環境	気温	-20° C ～ 60° C（-4° F ～ 140° F）
	湿度	5% ～ 90% (非結露)
	高度	12.1 km（40,000 フィート）
寸法	寸法 (W x H x D)	726.28 x 602.3 x 265.21 mm (28.59” x 23.71” x 10.44”)
VESA マウント	寸法	100 x 100 mm
重量	寸法	15.93 kg（35.12 ポンド）
省電力モード	オン [3]	80.5W (標準) [4]
	Off (オフ)	< 0.3W (最大)

[1] グラフィックカードをご使用の際は、仕様表の値を超える数値を設定するとディスプレイの故障につながる恐れがあるためご注意ください。
[2] ViewSonic® 製または認定されたメーカー製の電源アダプタのみをご使用してください。
[3] 試験条件は EEI 標準に従ったものです。
[4] USB とオーディオなし。

HDMI™ HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interfaceという語、HDMIのトレードドレスおよびHDMIのロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または登録商標です。

用語説明

本章では、全ての LCD ディスプレイモデルで使用される用語について説明します。全ての用語は、アルファベット順に記載しております。

注意事項：お使いのモニターに該当しない条項もあります。

A

Advanced DCR (アドバンス DCR)
アドバンスド DCR 技術は、自動で画面信号を検出し、スマートにバックライトの明るさと色合いをコントロールします。暗いシーンでは黒をより黒くし、明るいシーンでは白をより白くするよう調整します。

Adaptive Sync
Adaptive Sync テクノロジーは、ほぼすべてのフレームレートにおいて、滑らかで不自然さのない性能を実現し、途切れ途切れのゲームプレイや破損フレームを解消します。

Audio Adjust（音声調整）
音量調整やミュート設定を行うことができます。また、入力元が 2 つ以上ある場合は、入力を切り替えることができます。

Auto Detect（自動検出）
現在の入力元からの信号がない場合、ディスプレイが自動で他の入力オプションに切り替わるように設定します。一部のモデルでは、この機能はデフォルトで無効になっています。

B

Black Stabilization
ViewSonic の Black Stabilization は、高い視認性と暗い場面を明るくすることにより精細な描写をご提供します。

Blue Light Filter（ブルーライト低減）
刺激の強いブルーライトをフィルタリングし、ユーザーが更に快適に使用できるようにします。

Boot Up Screen（起動画面）
起動画面をオフにすると、モニターの電源を入れたときに画面に表示されるメッセージが表示されなくなります。

Brightness（輝度）
バックライトの輝度を調整します。

C

Color Adjust（カラー調整）
ユーザーのニーズに合わせて色設定を調節できるように、複数の色調整モードが提供されています。

Color Range（色範囲）
ディスプレイは、自動で色域の入力信号を検知することができます。表示されている色が間違っている場合は、色域オプションを変更して正しい色に合わせることができます。

オプション	詳細
Auto（自動）	ディスプレイが自動的にカラーフォーマットと白黒レベルを検出します。
Full Range（全範囲）	白黒レベルを最大値に設定します。
Limited Range（限定範囲）	白黒レベルは制限されています。

Color Space（色空間）
色空間を RGB または YUV から選択し、ディスプレイからの色出力を変更することができます。

Color Temperature（色温度）
特定の色温度を選択し、更にカスタマイズした視聴設定をすることができます。

パネルのデフォルト	初期値
sRGB	Windows システムに使用される標準の色空間
Bluish（青色の濃さ）	色温度を 9,300K に設定します。
Cool（寒色）	色温度を 7,500K に設定します。
Native（標準）	デフォルトの色温度です。一般的な使用に推奨されます。
Warm（暖色）	色温度を 5,000K に設定します。

ColorX
テンポの速いアクションのための、スピードとカラーのバランスをとる独自のカラーモードです。俊敏な反射神経と素早い反応のための正確な色を必要とするゲームに最適です。

Contrast（コントラスト）
画面の明暗を調整することができます。

Crosshair（十字線）
画面にオーバーレイするさまざまな十字線のスタイルと色から選択します。

E

Elite RGB Lighting（エリート RGB 照明）
この設定ではモニターの裏側とベゼルの下にある RGB 照明を操作します。RGB 照明の色とスタイルの両方を調整できます。

G

Game Mode（ゲームモード）
事前に較正済みの FPS、RTS、MOBA ゲーム設定など、ゲームに特化した OSD デザインを備えています。各モードは、色と技術を最良の状態で融合させるゲーム内テストや調整を利用して、機能的にカスタマイズされています。

Gamma（ガンマ調整）
モニターのグレイスケールレベルの輝度レベルを手動で調整できます。6 つのレベルを選択できます：1.8、2.0、2.2、2.4、2.6 および 2.8。

H

Hertz Limiter（Hz 上限設定）
モニターから出力されるフレーム数をユーザーが制御できます。モニターは、モニターからレンダリングできる最大フレーム数に上限を設定して、電力を節約し、モニター側から負荷をかけます。

Hue（色相）
それぞれの色の色調を調節します（赤、緑、青、藍色、深紅色、黄色）。

I

Information（インフォメーション）
コンピュータのグラフィックカードから送られる入力信号、LCD モデル番号、シリアル番号、ViewSonic® ウェブサイト URL を表示します。グラフィックカードの解像度とリフレッシュレートを変更したい場合は、グラフィックカードのユーザーガイドを参照してください。

注意事項： 例えば、VESA 1024 x 768 @ 60Hz は、解像度が 1024 x 768 で、リフレッシュレートが 60Hz であることを意味します。

Input Select（入力選択）
ご使用のディスプレイで利用可能な各種入力オプションを切り替えます。

L

Low Input Lag（低入力遅延）
ViewSonic® では、モニター処理減力を活用して信号遅延を軽減する低入力遅延を選択できます。「低入力遅延」サブメニューでは、オプションの中から使用目的に合う適切な速度を選択できます。

M

Manual Image Adjust（マニュアル画像調整）
マニュアル画像調整メニューを表示すると、様々な画面調整を行うことができます。

Memory Recall（メモリーリセット）
ディスプレイが本マニュアルの「仕様」に記載されている工場出荷時のプリセットタイミングモードで動作している場合、工場出荷時の設定に調整を戻します。

注意事項：（例外）この操作が「言語選択」または「電源ロック設定」で実行された変更に影響を与えることはありません。

O

Offset（オフセット）
赤、緑、青の黒レベルを調整します。ゲインとオフセット機能により、コントラストや暗いシーンを操作する際に、ユーザーが最前面のコントロールのホワイトバランスを制御できます。

OSD Pivot（OSD 回転）
ディスプレイの OSD メニューの表示方向を設定します。

Overscan（オーバースキャン）
このオプションを有効にすると、アスペクト比を変更せずに画面サイズに合わせて画面を引き延ばします。

P

Power Indicator（電源インジケーター）
モニターの電源がオンかオフかを示すライトです。また、この設定はスタンドの照明を制御します。「Power Indicator（電源インジケーター）」の下で、照明効果をオフに切り替えることができます。さらに、電源インジケーターは、画面が受信した入力色信号を直接解釈した平均色を表示します。

PureXP ™

「Pure Experience」の短縮形であるこの機能は、動くオブジェクトの視覚的な品質を向上させ、より鮮明なビューで曖昧さを減らすことができます。XP は、一部のゲームではライフバーの遊びでもあります。XP は、ビデオ業界と同様に、ビデオエフェクトを VFX として命名するための一般的でクールな方法です。また、ゲームと技術的なタッチも追加されます。

Q

Quick Access（クイックアクセス）
クイックアクセスキーとメニューを使用して、いくつかの機能とモードをすばやく開始します。ユーザーは、OSD の **Setup Menu（設定メニュー）**を介して、クイックアクセスメニューで希望する機能またはモードを定義することもできます。機能 / モードは、ライトバーがアイテム上を移動するとすぐに有効になり、ライトバーを削除すると無効になります。

R

Recall（リセット）
ディスプレイの View Mode 設定をリセットします。

Resolution Notice（解像度のお知らせ）
視聴解像度が正しくない場合にユーザーにお知らせします。解像度設定時に、設定内に通知が表示されます。

Response Time OD（応答速度 OD）
モニターの応答速度を調整したいユーザーのための高度な調整機能です。5 つの異なるレベルを選択し、より正確に必要に応じて速くなるように応答速度を調整しながら、それぞれの独自のゲームシナリオに基づいて、ぼやけやゴーストを減らすことができます。

S

Setup Menu（設定メニュー）
オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューの設定を調整します。ほとんどの設定を、オンスクリーンディスプレイ通知で有効にすることが できますので、ユーザーが再度メニューを開く必要がありません。

Sharpness（シャープネス）
ディスプレイの写真の鮮明度と品質を調整します。

V

ViewMode（View モード）
ViewSonic 独自の ViewMode 機能には、あらかじめ「Game（ゲーム）」、「Movie（映画）」、「Web（ウェブ）」、「Text（テキスト」、「MAC」、「Mono（モノクロ）」がプリセットされています。これらのプリセットは、様々な画面の用途に合わせて最適な状態で視聴いただけるように、特別に設計されています。

ViewScale
モニター上の画像の表示サイズを調整して、「最適な」シナリオを実現することができます。

トラブルシューティング

本章では、ディスプレイをご使用するにあたり、発生する可能性がある問題と対処方法を記載します。

問題	解決策
電源が入らない	• **電源**ボタンを押して、モニターをオンにしているかご確認ください。 • 電源コードがモニターと電源コンセントにしっかりと接続されているかご確認ください。 • 別の電気装置をコンセントに差し込み、コンセントが電力を供給していることを確認してください。
電源が入っているが、画面何も表示されない	• モニターをコンピュータに接続しているビデオケーブルが、正しい状態でしっかりと接続されているかご確認ください。 • 明るさとコントラストの設定を調整してください。 • 正しい入力源が選択されているかご確認ください。
色が違う、又はおかしい	• いずれかの色（赤、緑、青）が欠けている場合は、ビデオケーブルがしっかりと接続されているかご確認ください。コネクタが緩んでいたり、破損している場合は接続不良の可能性があります。 • ディスプレイを他のコンピュータに接続してご確認ください。 • 古いグラフィックスカードをお持ちの場合、DDC 以外のアダプタについては、ViewSonic® にお問い合わせください。
画像が明る過ぎる、又は暗すぎる	• OSD メニューから輝度とコントラスト設定を調節してください。 • モニターを工場出荷時の設定にリセットします。
画面がちらつく、点滅する	• 正しい入力源が選択されているかご確認ください。 • ビデオケーブルのコネクタに、曲がったピンや壊れたピンがないかご確認ください。 • モニターをコンピュータに接続しているビデオケーブルが、正しい状態でしっかりと接続されているかご確認ください。
画像がぼやけている	• 解像度を正しいアスペクト比に調整してください。 • モニターを工場出荷時の設定にリセットします。
画面が正しく中央に配置されていない	• OSD メニューから水平および垂直コントロールを調整してください。 • アスペクト比をご確認ください。 • モニターを工場出荷時の設定にリセットします。

問題	解決策
画面が黄色い	• ブルーライト低減がオフになっている事を確認してください。
OSD メニューが画面に表示されない /OSD コントロールにアクセスできない	• OSD メニューがロックされていないかご確認ください。 • ディスプレイの電源を切り、電源コードを抜いて挿し直してください。その後、ディスプレイの電源を再度入れてください。 • モニターを工場出荷時の設定にリセットします。
コントロールパネルキーが動作しない	• 一度に押すキーは一つだけにしてください。 • コンピュータを再起動してください。
OSD メニューに選択できない項目がある	• ViewMode または入力ソースを調整します。 • モニターを工場出荷時の設定にリセットします。
音が出ない、又は音量が小さい	• イヤフォン / ヘッドフォンを使用する場合は、ミニステレオジャックが接続されていることをご確認ください。 • 音量がミュートされていたり、0 に設定されていないかご確認ください。 • オーディオ入力設定が正しく設定されているかご確認ください。
ディスプレイが 調整できない	• ディスプレイの周囲に障害物がないことを確認の上、十分なスペースを確保してください。 • 詳細については、「視聴角度の調整」を参照してください。
USB デバイスをディスプレイに接続しても動作しない	• USB ケーブルがディスプレイと USB デバイスにしっかりと接続されているかご確認ください。 • 別の USB ポートに変えてみてください（該当する場合）。 • USB デバイスの中には使用電力が高いものがございます。その場合は USB デバイスをコンピュータへ接続して動作をご確認ください。
外付けデバイスを 接続しても、画面に画像が表示されない	• ディスプレイの電源が入っていることをご確認ください。 • OSD メニューから輝度とコントラストを調節してください。 • 接続ケーブルを確認し、適切かつしっかりと接続されていることを確認してください。コネクタが緩んでいたり、破損している場合は接続不良の可能性があります。

メンテナンス

お手入れの際の注意

- ディスプレイのお手入れを行う際は、必ず電源を切り、電源ケーブルをコンセントから抜いておいてください。
- 絶対に画面やケースに直接液体をスプレーしたり、かけたりしないでください。
- ディスプレイは十分注意してお取扱いください。傷がついた場合、跡が残る可能性があります。

画面のお手入れ

- 清潔で柔らかい不織布で拭いてください。ホコリやゴミを取り除くことができます。
- 落ちにくい汚れの場合は、ノンアンモニア、ノンアルコールの洗剤を少量画面につけ、清潔で柔らかい不織布で拭いてください。

ケースのお手入れ

- ホコリやゴミのついている場合は、柔らかい乾いた布で拭いてください。
- 落ちにくい汚れの場合は、ノンアンモニア、ノンアルコールの洗剤を少量ケースにつけ、清潔で柔らかい不織布で拭いてください。

免責事項

- ViewSonic® は、ディスプレイ画面またはケースにアンモニアまたはアルコールベースのクリーナーを使用することはお勧めしません。いくつかの化学洗浄剤は、ディスプレイの画面および / またはケースを損傷することが報告されています。
- ViewSonic® は、アンモニアやアルコールベースの洗剤の使用に起因する損傷の一切の責任を負いません。

> 規制およびサービス情報

コンプライアンス情報

本セクションでは、関連するすべての要件と規制に関する声明を扱います。確認された対応用途は、本体上の銘板ラベルおよび関連マーキングを参照してください。

FCCコンプライアンス声明

本装置は、FCC規則パート15に準拠しています。操作は次の2つの条件に従うものとします：(1) 本装置は有害な干渉を引き起こさない場合があります。(2) 本装置は、望ましくない動作の原因となる干渉を含め、受信した干渉を受け入れなければなりません。本装置は、FCC規則パート15に従って試験され、クラスBデジタル装置の制限に準拠していることが判明しています。

これらの制限は、住宅における設置で有害な干渉から適切な保護を提供するように設計されています。本装置は、無線周波エネルギーを生成、使用しており、放射する可能性があり、指示に従って設置および使用されない場合、無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。ただし、特定の設置環境で干渉が発生しないという保証はありません。本装置がラジオまたはテレビの受信に有害な干渉を引き起こした場合（装置の電源を入れ直して判断できます）、次のいずれかの方法で干渉を是正するようにしてください。

- 受信アンテナの向きまたは位置を変えてください。
- 本装置と受信機の間隔を広げてください。
- 受信機が接続されているコンセントとは別のコンセントに本装置を接続してください。
- 販売店または経験豊富なラジオ / テレビ技術者に相談してください。

警告：コンプライアンス担当者が明示的に承認していない変更または修正を行うと、本装置の操作権限が失われる可能性があることに注意してください。

カナダ産業省の声明

CAN ICES-003(B) / NMB-003(B)

欧州諸国の CE 適合

本装置は、EMC指令2014/30/EUおよび低電圧指令2014/35/EUに準拠しています。

次の情報は、EU加盟国のみに適用されます：

右側のマークは、廃電気電子機器指令2012/19/EU（WEEE）に準拠しています。このマークは、本装置を未分類の地方自治体の廃棄物として処分せず、現地の法律に従って回収および回収システムを使用する必要があることを示しています。

RoHS2 コンプライアンス宣言

本製品は、欧州議会および理事会指令2011/65/EU（電気・電子機器における特定の有害物質の使用制限に関する指令（RoHS2指令））に準拠して設計・製造されており、欧州技術適合委員会 (TAC) が発行する以下の最大濃度値に適合しているとみなされます：

物質	提案された最大濃度	実際の濃度
鉛 (Pb)	0.1%	< 0.1%
水銀 (Hg)	0.1%	< 0.1%
カドミウム (Cd)	0.01%	< 0.01%
六価クロム ($Cr6^{+}$)	0.1%	< 0.1%
ポリ臭化ビフェニル (PBB)	0.1%	< 0.1%
ポリ臭化ジフェニルエーテル (PBDE)	0.1%	< 0.1%
フタル酸ビス（2- エチルヘキシル）(DEHP)	0.1%	< 0.1%
フタル酸ブチルベンジル (BBP)	0.1%	< 0.1%
フタル酸ジブチル (DBP)	0.1%	< 0.1%
フタル酸ジイソブチル (DIBP)	0.1%	< 0.1%

上記のような製品の特定のコンポーネントは、下記のRoHS2指令の附属書IIIの下で免除されています。免除されているコンポーネントの例を以下に挙げます：

- 以下を超えない特殊用途用冷陰極蛍光灯および外部電極蛍光灯（CCFL および EEFL）の水銀（ランプあたり）：
  - » 短いランプ（≦500mm）：ランプあたり最大 3.5 mg。
  - » 中程度のランプ（> 500 mm かつ≦1,500 mm）：ランプあたり最大 5 mg。
  - » 長いランプ（1,500 mm 以上）：ランプあたり最大 13 mg。
- 陰極線管のガラス中の鉛。
- 重量 0.2 % を超えない蛍光灯のガラス中の鉛。
- 重量 0.4 % までの鉛を含むアルミニウムの合金元素としての鉛。
- 鉛を重量 4 % まで含有する銅合金。
- 高融点温度はんだ中の鉛（すなわち、鉛を重量 85 % 以上含む鉛ベースの合金）。
- コンデンサに誘電体セラミック以外のガラスまたはセラミックの鉛を含む電気および電子部品（例えば、圧電素子、またはガラスまたはセラミックマトリックス化合物中）。

著作権情報

Copyright© ViewSonic Corporation, 2021.All rights reserved.

Macintosh 及び Power Macintosh はアップル社Apple Inc.の登録商標です。

Microsoft、Windows 及び Windows ロゴは米国及び他諸国のマイクロソフト社の登録商標です。

ViewSonic 及び 3 羽の鳥のロゴは ViewSonic 社の登録商標です。

VESA は Video Electronics Standards Association の登録商標です。DPMS、DisplayPort 及び DDC は VESA の商標です。

ENERGY STAR® は米国環境保護庁（EPA）の登録商標です。

ENERGY STAR® パートナーとして、ViewSonic® Corporationは本製品がエネルギー効率のための ENERGY STAR® ガイドラインに準拠することを決定しています。

免責条項：

ViewSonic® Corporationは, 本書における技術的または編集上の誤りについてその責を負いません。また、本資料の提供または本製品の動作或いは使用に起因する二次的または間接的損害についてもその責を負いません。

製品の継続的な品質向上のために、ViewSonic® Corporationは製品の仕様を予告なしに変更することができます。本文書の内容は予告なしに変更されることがあります。

本書のいかなる部分も、ViewSonic®Corporationから事前に書面による許可を得ることなく、いかなる方法によっても無断で複写、複製、転送することを禁じます。

XG321UG_UG_JPN_1a_20211025

カスタマーサポート

技術サポート、製品サービスについては下記ウェブサイトをご覧ください。https://www.viewsonic.com/jp/support/
製品サポート、修理、その他お問い合わせについては下記ウェブサイトからお送りください。
https://www.viewsonic.com/jp/contact/

ViewSonic®